

緑が丘スポーツ公園屋外トイレ建設（機械設備）工事

図面番号	図面内容	縮尺
M-01	表紙・図面リスト	A1 S=NS A3 S=NS
M-02	特記仕様書（1）	A1 S=NS A3 S=NS
M-03	特記仕様書（2）・凡例	A1 S=NS A3 S=NS
M-04	全体配置図	A1 S=1:500 A3 S=1:1000
M-05	屋外トイレ平面図	A1 S=1:200 A3 S=1:400
M-06	屋外トイレ平面詳細図・機器表・器具表	A1 S=1:50 A3 S=1:100
M-07	柵リスト	A1 S=NS A3 S=NS
GP-01	外構 現況平面図	A1 S=1:250 A3 S=1:500
GP-02	外構 計画平面図	A1 S=1:250 A3 S=1:500
GP-03	外構 割付平面図	A1 S=1:250 A3 S=1:500
GP-04	外構 造成計画平面図	A1 S=1:250 A3 S=1:500
GP-05	外構 計画縦断図	A1 S=図示 A3 S=図示
GP-06	外構 計画横断図	A1 S=1:200 A3 S=1:400
GP-07	外構 雨水排水計画平面図	A1 S=1:250 A3 S=1:500
GP-08	外構 舗装計画平面図	A1 S=1:250 A3 S=1:500
GP-09	外構 公園雨水排水施設構造図(1)	A1 S=図示 A3 S=図示
GP-10	外構 公園雨水排水施設構造図(2)	A1 S=図示 A3 S=図示
GP-11	外構 公園雨水排水施設構造図(3)	A1 S=図示 A3 S=図示
GP-12	外構 側溝展開図	A1 S=1:100 A3 S=1:200
KP-01	仮設計画図	A1 S=1:150 A3 S=1:300

<p>A 建築概要</p>	<p>1 工事名称 緑が丘スポーツ公園屋外トイレ建設（機械設備）工事 2 工事場所 甲府市緑が丘二丁目地内 3 建物概要 屋外トイレ 鉄筋コンクリート造 平屋建て</p>	<p>F 特記事項</p>	
<p>B 工事項目</p>	<p>I 機械設備工事 1 衛生器具設備工事 3 排水設備工事 5 換気設備工事 2 給水設備工事 4 冷暖房設備工事 II 外構工事</p>		<p>2 下請け施工体系図の作成及び提出 「甲府市暴力団排除条例の施行に伴う、公共工事からの暴力団排除」を目的として、受注者は、下請負者を用いる場合には、金額・工種の如何にかかわらず、末端の下請負者まで反映させた、「下請施工体系図」を作成し、遺漏・誤謬が無いよう記載内容を十分確認の上、遅滞なく監督員へ提出するものとする。 また、提出した「下請施工体系図」の内容に変更が生じた場合は、その都度変更するものとし、遅滞なく監督員へ提出するものとする。 なお、提出は打合せ簿によるものとする。ただし、メールによる提出も可能なものとし、この場合は、後日、打合せ簿を提出するものとする。 3 技能士の活用を積極的に図ること。下請負届に技能士の氏名・資格証明を添付すること。 4 建設機械は低騒音型かつ排ガス対策型建設機械を使用すること。 5 「国等による環境物品等の調達推進等に関する法律」（グリーン購入法）に基づき「甲府市グリーン購入法調達方針」により定められた次の資材については同法の判断基準を満たすものの採用に努め、建設機械については原則使用とする。また、採用が困難な場合は理由書を添付して報告すること。 6 受注者は、工事期間中近隣住民に迷惑を掛けてはならない。また、重車両等使用による道路の破損、公害防止条例による違反、及び火災の原因になるような事項に対しては、事前に対策を講じること。 7 敷地内外の工作物等には十分注意すること。 万一破損した場合は、請負者の負担で原状復旧すること。 8 工事施工に必要な官公庁その他への手続きは、受注者の負担において遅滞なく行うこと。 9 仮設物を設置するときは、各受注者と打合せのうえ、地域住民に支障なく安全な場所に設置すること。 10 仮設に使用する電気・水道等の料金については、受注者の負担とする。 11 製作又は施工上必要な図面（施工図・製作図等）は、受注者において作成し、承諾を受けること。 12 工事の進捗につれて隠れる部分及び監督員の指示する場所については、その都度工事の進捗状況をカラー写真で撮影すること。 13 工事完成後、完成図書を請負者の負担で作成し、速やかに提出すること。 14 躯体の貫通部分は完全に穴埋めを行うこと。 15 防火区画貫通部を施工する際は、所轄の消防署と施工方法を協議した上で、施工を行うこと。 16 給排水設備工事は甲府市上下水道局の指導を受けること。 17 工事完成前に使用する洗浄水・テスト用水等の水道料金は受注者の負担とする。 18 給水管の異種管の接続は、絶縁を設けること。 19 給水配管、及び排水配管は、公共建築工事標準仕様書に基づいた試験を行い、報告書を提出すること。 20 工事着手に際しては、別途工事（建築・電気工事）と調整を図り施設側の運営に影響が出ないように施工を行うこと。 21 はつり作業は、既存配管等に十分注意すること。万一破損した場合は、受注者の負担で原状復旧すること。 22 配管等の耐震施工は、国土交通省施工指針等により実施すること。また設置機器類等は、耐震計算書を提出し、それに適合するアンカーボルトを使用し、引抜試験（既設ボルト含む）を実施すること。 23 主要な弁類には、使用用途を記したプラスチックの用途札を取付けること。 また弁類の前後等適当な箇所にフランジ継手又はユニオンを挿入し、取外しを容易にすること。 24 給水等に使用する器具・バルブ類は鉛レス対策品とする。軽量間仕切内の水栓接続は座付継手とする。 25 給水の屋外埋設深さはG L－6 0 0 を標準とする。 26 屋外埋設管には、埋設表示標を監督員の指示により取付けること。 27 埋設ステンレス管は継手共S U S 3 1 6 を使用すること。 28 水道局直結部分・その他指定する部分の弁類はJIS-10Kとする。 29 配管に使用するボルトナット及びフランジアングル類は亜鉛メッキ以上の物を使用すること。 30 ただし、屋外やビット内に使用する支持金物類はステンレス製の物を使用すること。 31 土間下埋設配管は沈下防止の為、それぞれの管種に応じた天井配管と同ピッチで土間配筋より吊ること。 32 排水勾配は屋内1／5 0、屋外1／1 0 0 を標準とする。 33 本図中に無い既設配管及び設備に於いては、支障無きよう接続又は布設替えを行うこと。 34 天井内の弁類、通気弁、F J、F D等取付箇所には必要に応じて点検口を設置すること。（建築工事） 35 通気口離隔距離は、最上階建物部より有効600mm以上、水平離隔距離3000mm以上とすること。 36 床上掃除口はツバ付化粧型V P用とする。 37 衛生器具陶器の色は標準色等価格とし、監督員と協議の上決定する。 38 ダクト（ステンレス製除く）については、切断面の防錆処置を講じること。 39 紙巻器裏の補強（当板）を行うこと。 40 衛生器具等撤去の穴埋補修は本工事内で行う。 41 床、壁等コア抜きする際は鉄筋探査を必ず行い結果を書面に報告すること。 42 コア抜き場所を図面上で確認し、建築・電気業者と必ず相談の上実施すること。 43 万一破損した場合は速やかに監督員へ報告し、受注者の負担で早急に原状復旧すること。 44 和風便器設置は全アスファルト巻きAパット仕上げとする。 45 給水管は気密試験、排水管は満水試験を各フロア及び全体を実施すること。 46 工事写真データ等は紛失に備え、記憶媒体への定期的なバックアップを二重に行うこと。 47 配管配線工事に伴う既存壁等のコア抜きはダイヤモンドカッターを使用すること。 48 冷媒管口径については参考の為、使用メーカーに対応出来る仕様とする。 49 文字標識等は監督員と打ち合せの上表示する。 50 材料の加工等は出来る限り建物外で行うこと。 51 機器類搬出入経路及び設置工事範囲は、養生を行うこと。 52 配管ルートは設計図面を基本とし、現地調査の結果を持って監督員と協議すること。 53 設備配管に伴う既存壁等のはつり補修は、本工事施工のこと。（仕上げ補修共） 54 屋内配管の支持は全て上階コンクリートスラブ等より行うこと。 天井下地には支持しないこと。 55 配管支持間隔は冷媒管2m以下、ドレン管1m以下とする。（一般吊り棒鋼使用） 56 機器までの吊り長さが1.0mを超える場合は、振れ止めを行うこと。 57 室内機設置については、吊元の新旧にかかわらず、室内機1台当たり最低1箇所のアンカー引張試験を行い、試験報告書及び実施写真を提出すること。 58 屋内配管ルート上及びエアコン室内機（壁掛型を除く）部分の天井は本工事にて取外、再取付すること。</p>
<p>C 優先順位</p>	<p>1 法令、政令、規則等の定め、及び指導 2 質問回答書 3 特記仕様書 4 設計図 5 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修『公共建築工事標準仕様書』（機械設備工事編）（最新版） 6 国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修『公共建築工事設備工事標準図』（機械設備工事編）（最新版）</p>		
<p>D 工事範囲</p>	<p>設計図書及び工事契約書による</p>		
<p>E 一般事項</p>	<p>1 本工事は全て、図面・本仕様書及び、共通仕様書（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修『公共建築工事標準仕様書』・国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修『公共建築工事設備工事標準図』（機械設備工事編））に基づき、諸官庁関係法規に準拠して施工する。 2 本工事に於て、図面・特記仕様書に疑義が生じた場合及び、それに明記なきものでも技術上・維持管理上当然必要なものは、監督員と協議の上誠実に施工するものとする。但し、その費用は受注者負担とする。 3 本設計図は工事概要を示すものであるから、請負者は充分なる理解の上、工事の着工に先立ち標準仕様書に基づき、工程表・施工計画書・その他を提出し、監督員の承諾を得ること。 4 本工事請負者は工期内に工事を完成させ、同時に完成書類一式を提出し、検査を受けなければならない。また、工事写真については、電子納品とすること。 5 本工事に伴う関係諸官庁等への申請及び手続きは遅滞なく行うこと。それに伴う費用は本工事に含む。 6 本工事は、工事完成引き渡し後でも施工方法、器具類の不良に起因する事故に対しては責任を持って修復しなければならない。 7 工事写真・施工図・竣工図は、電子納品とする。（但し、完成図書の写真はダイジェスト版を添付のこと。） 8 維持管理面を十分考慮し施工に当たること。 9 受注者は、工事実績情報サービス（C O R I N S）入力システム（（財）日本建設情報総合センター）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「登録のための確認お願い」を作成し監督員の確認（機関印または監督員の記名・押印及び電子メールアドレスを記入）を受けたうえ、（財）日本建設情報総合センターに登録申請するとともに、「登録内容確認書」の写しを監督員に提出しなければならない。（請負金額500万円以上の工事）提出の期限は、以下のとおりとする。 1) 受注時登録データの提出期限は、契約締結後1 0日以内（土・日曜日及び祝日等を除く）とする。 2) 完成時登録データの提出期限は、業務完成後1 0日以内とする。 3) 業務履行中に、受注時登録データの内容のうち、「工期」または「現場代理人」または「監理・主任技術者」に変更があった場合は、変更があった日から1 0日以内（土・日曜日及び祝日等を除く）に変更データを登録申請しなければならない。工事請負代金のみ変更の場合は、原則として登録を必要としない。ただし、工事請負代金2,500万円を超えて変更する場合には変更時登録を行うものとする。 4) 訂正時は、適宜登録機関に登録申請をしなければならない。 1 0 請負者は国土交通省のホームページから「建設リサイクル報告様式（計画書・実施書）（EXCEL 様式）」の最新バージョンをダウンロードし、作成出力した再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を出し、1部（紙）を施工計画書に添付し監督員に提出するものとする。（請負金額1 0 0万円以上の工事）（以前より使用していたクラスを使用した様式での提出はH30センサスに対応していないため不可） 工事完了後は速やかに、当初入力した工事データを実績値に修正した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を出し、1部（紙）を完成書類に添付し、また、電子データを電子媒体（CD、DVD等）により監督員に提出するものとする。 なお、入力した電子データは自社で1年間保管するものとする。 ※入力時の最新版を国土交通省のホームページからダウンロードして入手すること。 URL http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_0306010credastop.htm 1 1 工事写真については 1) 電子媒体により納品すること。 2) 納品時には、正副1部ずつを納品すること。 3) 使用する媒体は、CD-Rとする。ただし、やむを得ない理由がある場合に限り、DVD-Rの使用も可とする。 4) 電子媒体に対して必ずウイルスチェックを行うこと。 （ウイルス対策ソフトは特に指定しないが、最新のウイルスも検出できるように最新のデータに更新したものを利用すること。） 5) 電子媒体には以下の情報を明記すること。 A、工事名称 B、工事場所 C、契約番号 D、発注者担当部署名称 E、受注者名称 F、作成年月 G、何枚目／総枚数 H、ウイルスチェックに関する情報 I、CD-Rフォーマット形式 J、電子媒体の内容の原本性を証明するために、直接署名又は捺印を行う。 ・電子納品される写真データは、PDF形式、エクセル等で編集したもので、従来の印刷物写真と同様な確認ができるものとする。 ・写真データは、工程種別、撮影項目毎に分類し、工事の進捗に合わせて編集し、容易に確認できるファイル名・フォルダ名を付して整理すること。 ・工事写真の検査は、電子データで検査することを原則とするが、印刷物または電子データと併用で検査すること も可能とし、その範囲は受発注者との協議による。 ・検査に使用する機器の準備と操作は、受注者が行うことを原則とする。 ・やむを得ない理由により、電子納品できない場合は、受発注者との協議により、従来の印刷物による納品も可とする。 ・ここに定めなきことは、受発注者との協議により決定する。 1 2 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付きなければならない。 1 3 受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。</p>		
<p>F 特記事項</p>	<p>1 暴力団等からの不当要求及び工事妨害の排除 1) 請負者は、工事の施工に当たり、暴力団等からの不当要求及び工事妨害を受けた場合はその旨を直ちに発注者に報告すると共に、所轄の警察署に届け出を行い、捜査に必要な協力を行うこと。 2) この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに発注者と協議すること。 3) 請負者が（1）の報告等を怠った場合は、「甲府市建設工事等請負契約に係る指名停止等措置要綱」に基づき、指名停止措置を行うこととする。</p>		

<p>特記事項</p>	<p>変更事項</p>	<p>ディナック中日本・地建工業 設計業務共同企業体 <small>一級建築士 第 217345 号 申込 秀</small></p>	<p>設計年月： 令和 年 月 承認 申込 担当 中村 作図 中村</p>	<p>工事名称 緑が丘スポーツ公園屋外トイレ建設（機械設備）工事</p>	<p>図面名称 特記仕様書（1）</p>	<p>縮尺</p>	<p>図面番号 M-02</p>
-------------	-------------	--	--	---	---------------------------	-----------	-----------------------

F 特記事項	59 ドレン管はV P管とし、ジャバラホースは絶対に使用しないこと。	
	60 ドレン管は適正な勾配が確保できる場合は、冷媒管化粧ケース内に納めても良い。(保温はいんぺい仕様にて施工)	
	61 冷媒管のろう付け及び溶接作業は、酸化防止措置として、配管内に不活性ガスを通しながら行うこと。	
	62 冷媒管はテッ素ガス又は乾燥空気にて気密試験を行い、結果を報告書として写真添付の上提出すること。	
	63 試験圧力は製造者の設計圧力以上(4MPa程度)とし、24時間放置し漏れのないことを確認し、真空引きを行うこと。	
	64 室内機・リモコンの位置は、施設管理者等に確認の上決定とする。	
	65 リモコン配線の露出立下り部分は、メタルモール内に納める。	
	66 室内機は工事完了後試運転調整を行い、良好な冷暖房運転(吹出温度、異音の有無等)を確認後引渡しとする。	
	67 工事完了後に必要なくなる機器等は、本工事の範囲内で撤去処分すること。	
	68 室外機は、転倒防止を行うこと。	
	69 特に指示なき場合は既設配管・電源線・コンクリート製スライドレールブロック等は再使用する。	
	70 保温・防露仕様	
	給水管	地中・コンクリート内 : 粘着テープ(1/2重ね)2回巻き 但しHIVP、VD管・VS管は除く。 床下ビット内 : ホリスレンフォーム保温筒(20mm) + 粘着テープ + ホリエレンフィルム + 着色アルミラスクロス 天井内・P S内 : アルミラスクロス化粧ホリスレンフォーム保温筒(20mm) + アルミラスクロス粘着テープ 屋内ライニング内 : ワンタッチ保温筒(10mm) 屋内露出部 : ホリスレンフォーム保温筒(20mm) + 粘着テープ + 合成樹脂製 屋外露出部 : ホリスレンフォーム保温筒(20mm) + 粘着テープ + ホリエレンフィルム + ステンレス鋼板 土間埋設部 : ワンタッチ保温筒(10mm)
	排水管	地中・コンクリート内 : 不要(硬質塩化ビニル管) ビット内 : 不要(硬質塩化ビニル管) 隠蔽部 : 不要(耐火二層管) 屋外露出部 : 不要(硬質塩化ビニル管)
	スパイラルダクト	: アルミラスクロス化粧ラスクル保温筒(25mm) + アルミラスクロス粘着テープ
冷媒管	: 冷媒管保温施工仕様参照	
ドレン管	隠蔽部 : 保温付V P管 屋内露出部 : 保温付V P管 屋外露出部 : 調合ペイント2回塗りもしくはカラーV P	

※その他は標準仕様書による。
 ※凍結防止ヒーター巻き部はグラスウール保温とする。

冷媒管保温施工仕様

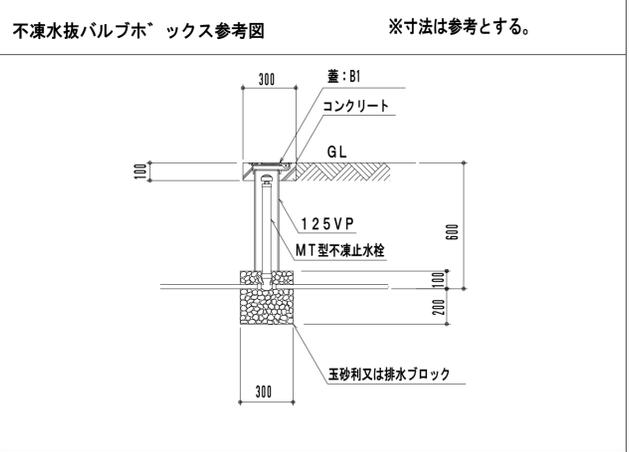
施工箇所	保温の種類	施工例
天井内、P S内 屋外ラッキング内 その他いんぺい部	1. 架橋ポリエチレンフォーム保温筒 2. ビニールテープ	
屋内露出部	1. 架橋ポリエチレンフォーム保温筒 2. 塩ビ樹脂製保温化粧ケース (必要箇所をビス止め)	
屋外露出部	1. 架橋ポリエチレンフォーム保温筒 2. 塩ビ樹脂製保温化粧ケース(浮かし工法) (必要箇所をビス止め) 3. シーリング ※1 塩ビ樹脂製保温化粧ケース又はステンレス鋼板製化粧	

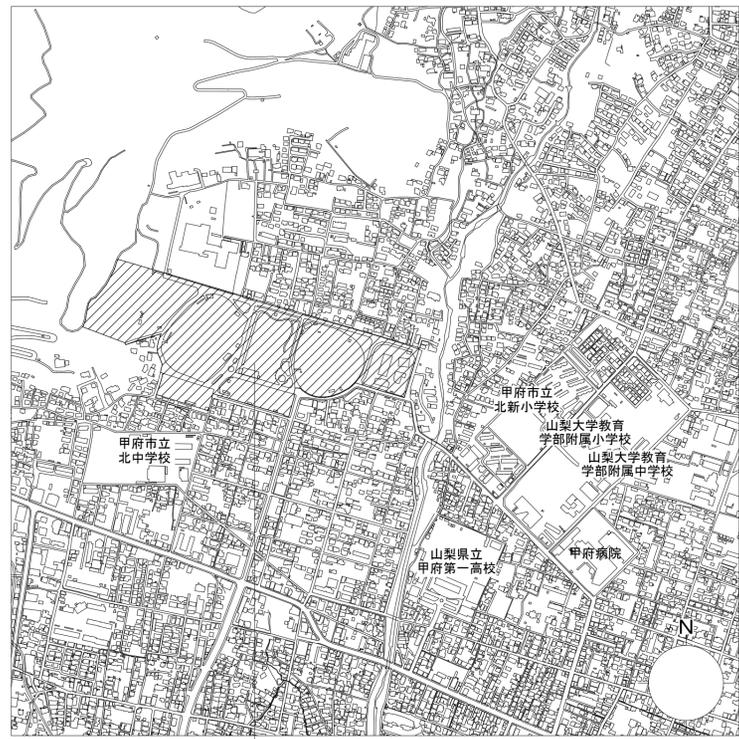
○冷媒管保温厚はガス管20mm、液管10mmとする

○制御ケーブルは保温筒へ鉄線等で固定する事(ピッチ2M)

G メーカー指定	1 主要機器材料は国土交通省大臣官房官庁営繕部監修設備機材等評価名簿(最新版)による。 2 配管・継手類 JWWA及びJIS規格メーカー 衛生器具類 TOTO LIXIL 弁類 キッツ 東洋バルブ 日邦バルブ 尚メーカーリスト及び承諾書を提出し、監督員の承諾を得ること。
H 工事概要	I 機械設備工事 1 衛生器具設備工事 屋外トイレに衛生器具を設置する。 2 給水設備工事 既存給水管より量水器を新設し、屋外トイレに供給する。 3 排水設備工事 既存建物北側の道路排水管へ接続する。 4 冷暖房設備工事 屋外トイレ内にパネルヒーターを設置する。(3カ所) 5 換気設備工事 屋外トイレ内に天井扇を設置する。(3カ所) II 外構工事 屋外トイレ周辺の基盤整備、雨水排水設備整備等を行う。

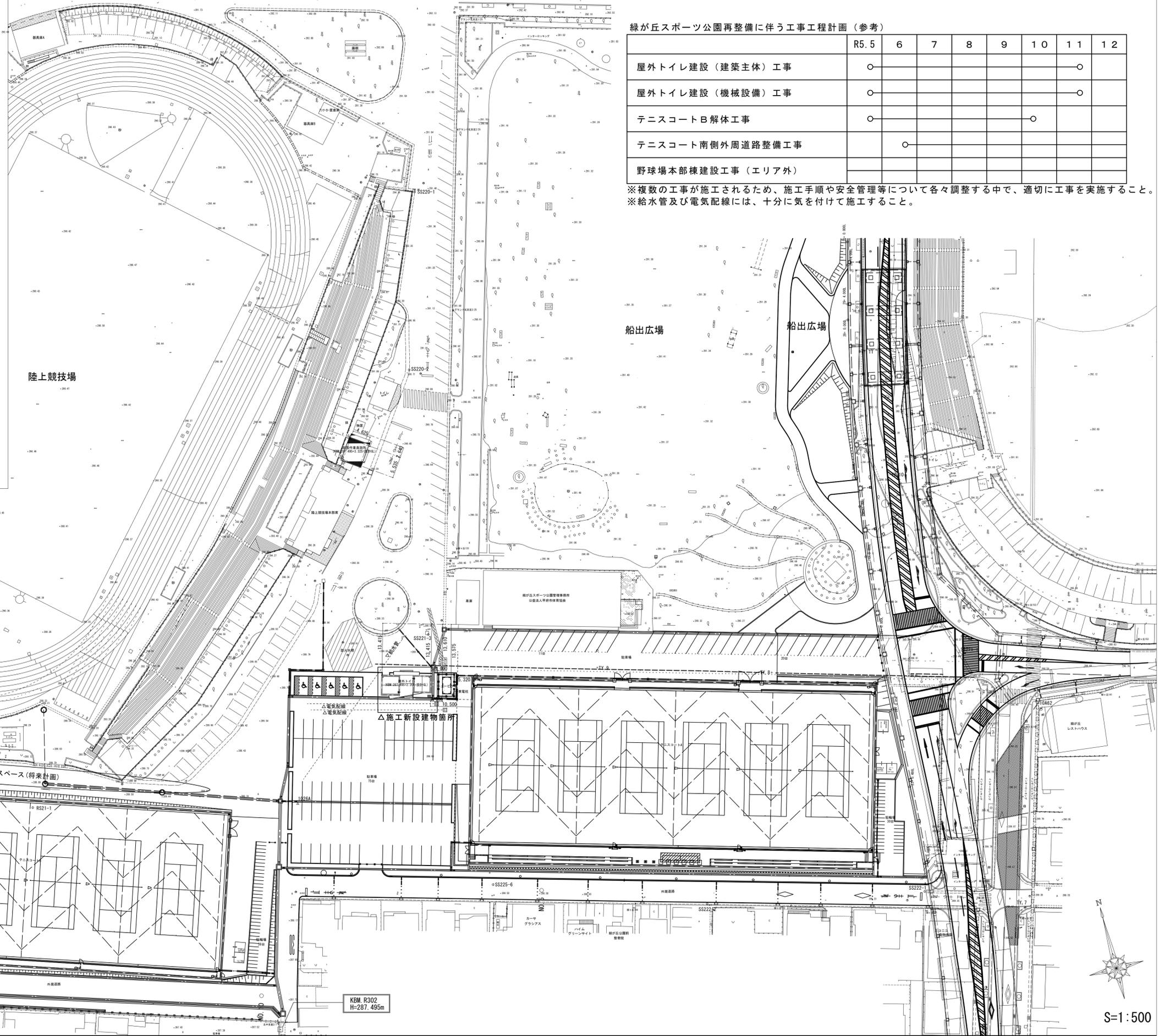
凡例	給水管	排水管	通気管	ガス管	給湯管
	耐衝撃性硬質塩ビ管 JWWA-K-129 (HIRR) 離脱防止金具共 屋外地中部分 50φ以上 耐衝撃性硬質塩ビ管 JIS-K-6742 (HIVP) 屋外地中部分 40φ以下 ステンレス鋼鋼管 JIS-G-3448 拡管式 SUS316 屋内地中部分 ステンレス鋼鋼管 JIS-G-3448 拡管式 SUS304 地中以外の部分 硬質塩化ビニル管 JIS-K-6741 (VP) ビット・地中部分 耐火二層管 (内管VP) 上記以外 硬質塩化ビニル管 JIS-K-6741 (VP) ビット・地中部分 耐火二層管 (内管VP) 隠蔽部 ガス用ポリエチレン管 JIS-K-6774 (PE) 屋内地中部分 ポリエチレン被覆鋼管 JIS-G-3469 (PLP) 上記以外 耐熱性硬質塩化ビニル鋼管 JWWA-K-140 (HVA) 屋内露出部				





工事場所 甲府市緑が丘2丁目地内

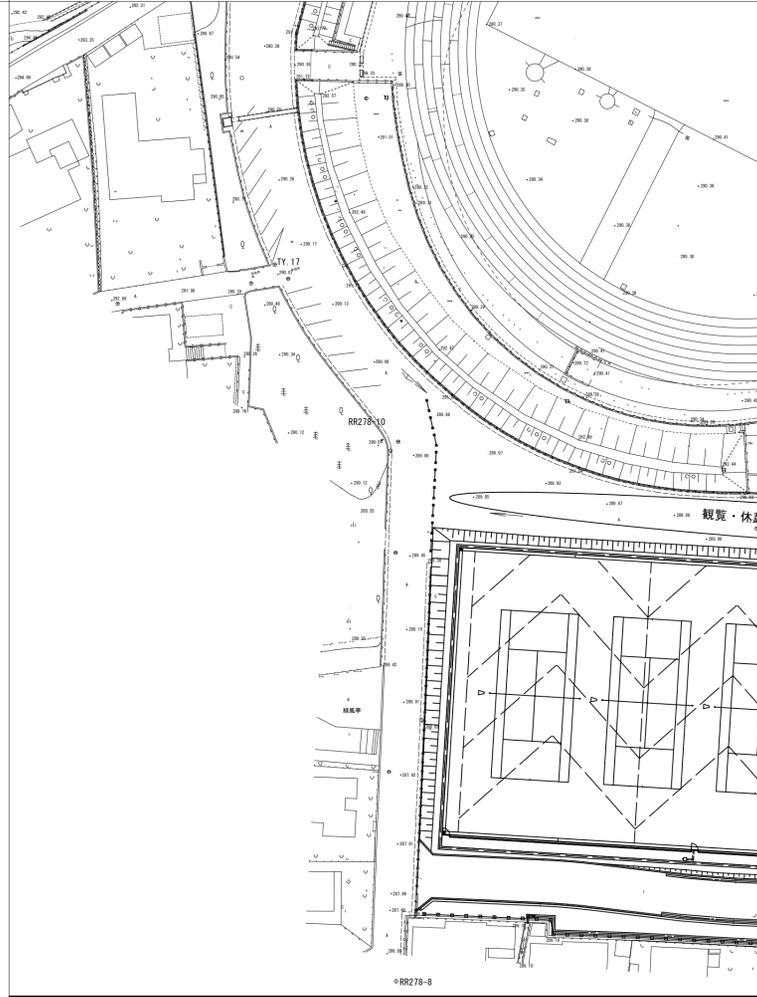
案内図 S-NS



緑が丘スポーツ公園再整備に伴う工事工程計画（参考）

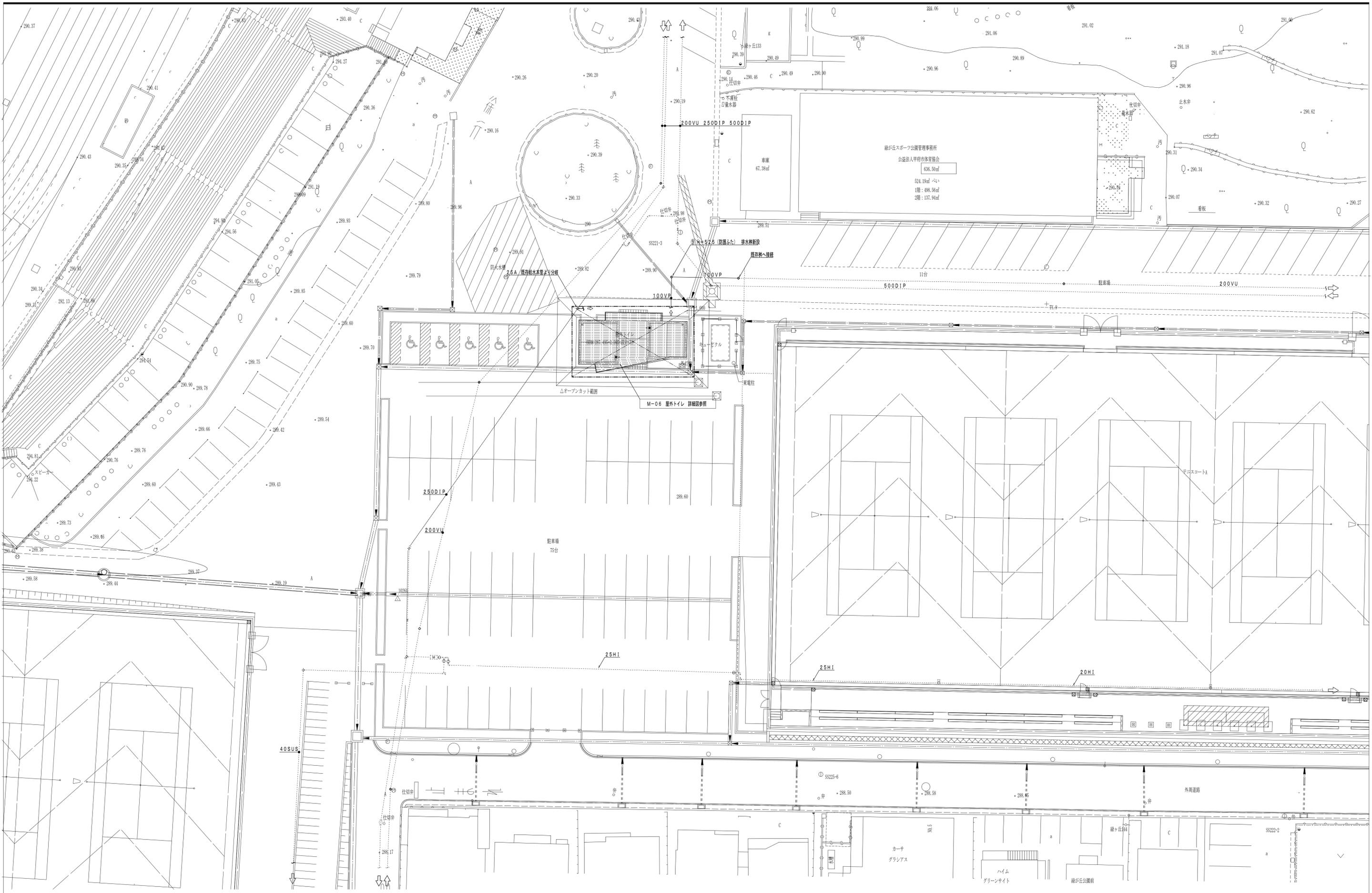
	R5.5	6	7	8	9	10	11	12
屋外トイレ建設（建築主体）工事	○							○
屋外トイレ建設（機械設備）工事	○							○
テニスコートB解体工事	○					○		
テニスコート南側外周道路整備工事		○						
野球場本部棟建設工事（エリア外）								

※複数の工事が施工されるため、施工手順や安全管理等について各々調整する中で、適切に工事を実施すること。
 ※給水管及び電気配線には、十分に気を付けて施工すること。



特記事項	変更事項	ディナック中日本・地建工業 設計業務共同企業体 一級建築士 第 217345 号 中込 秀	設計年月：令和 年 月	工事名称	図面名称	縮尺	図面番号
			承認 中込 担当 向山 作図 向山	緑が丘スポーツ公園屋外トイレ建設（機械設備）工事	全体配置図	A1：1/500 A3：1/1000	M-04





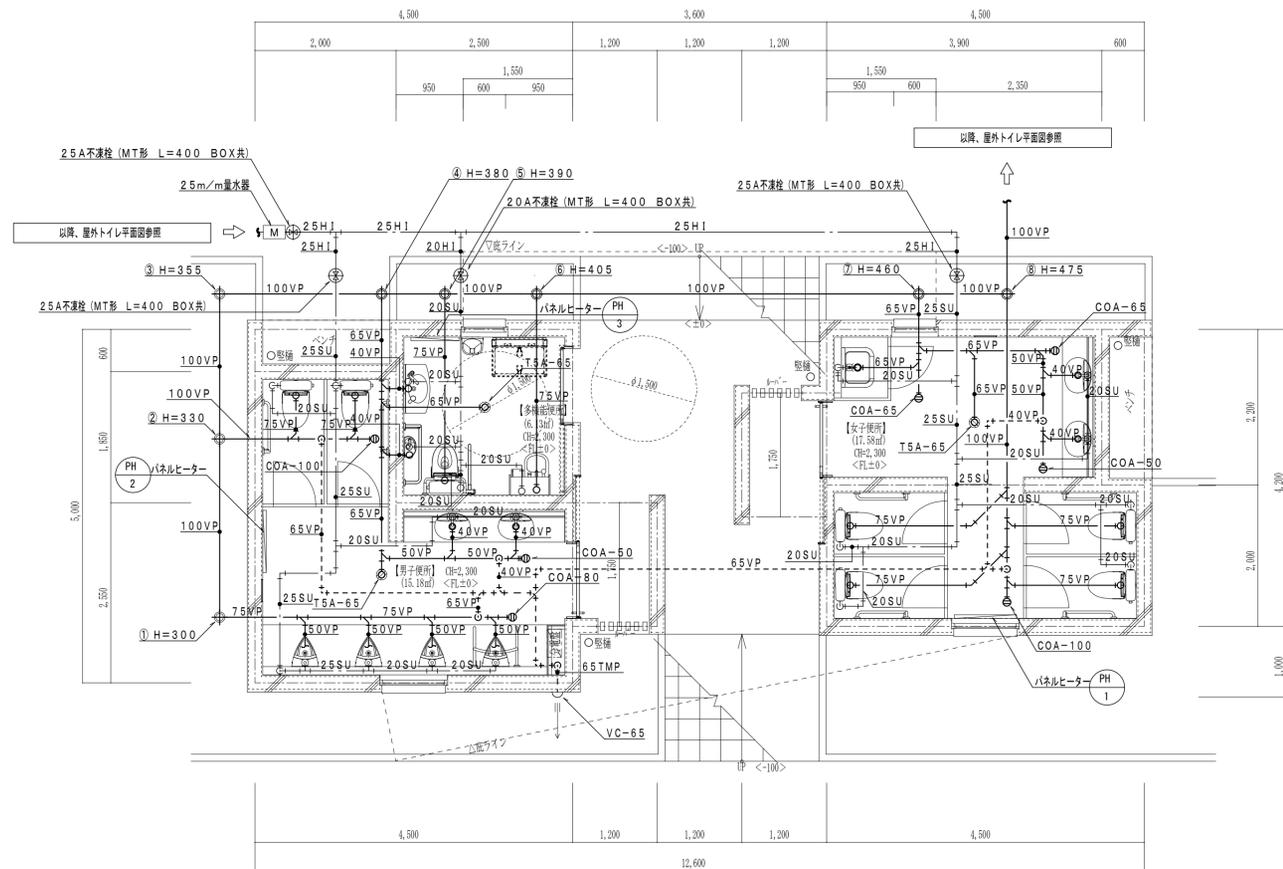
特 記 事 項	変 更 事 項



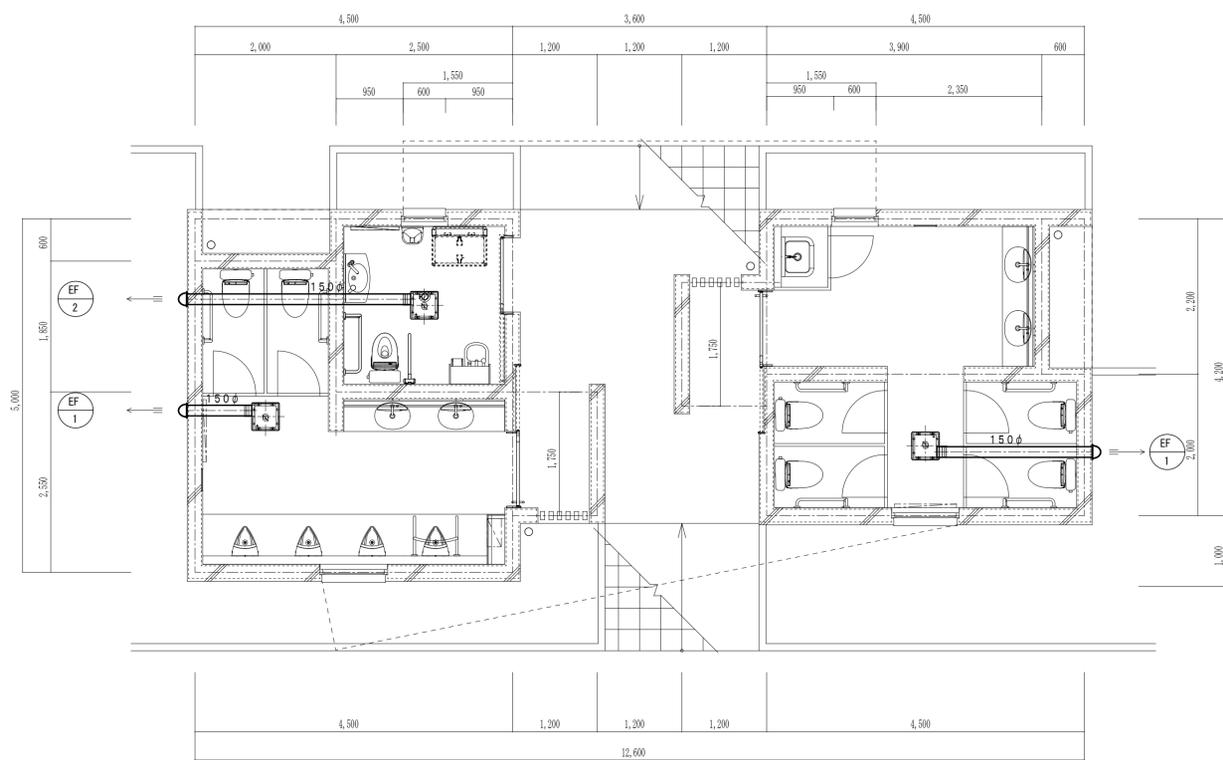
株式会社 **ディナック** 中日本
 Design Room: 山梨県甲府市相生1-5-15-2F
 TEL: 0555-220-1700
 山梨県知事登録 第 1-031984 号
 一級建築士 第 217345 号 中込 秀

設計年月	令和 年月	工事名称
承認	中込 担当 中村 作図 中村 中村	緑が丘スポーツ公園屋外トイレ建設(機械設備)工事

図面名称	縮尺	図面番号
屋外トイレ 平面図	A1 : 1/200 (A3 : 1/400)	M-05



平面図 S=1/50 ※ 土間配管



平面図 S=1/50

衛生器具表

名称	仕様	参考型式 ※2		男子便所	女子便所	多機能便所	合計
		T O T O	L I X I L				
洋風便器	床給排水 温水洗浄便座 紙巻器	CFSA98B TCF587 YH650	BC-P110S DG-PA150CH CW-PB21-NE CF-AA64 CF-020-SET	2	4		6
洋風便器	床給排水 リモコン温水洗浄便座 紙巻器	CS597BS SH596BAR TCF5514AU YH650	BC-P20SU DT-PA250UCHTK CW-PA21QF-NEC CF-AA64 CF-008-1			1	1
小便器	自動洗浄 (AC100)	UFS900R	U-A51AP	4			4
L型手すり	SUS製 樹脂被覆タイプ	T112CL9	KF-920AE70D12J	2	4		6
L型手すり	SUS製 樹脂被覆タイプ 前出230mm	T112CL11	KF-926AE80D25J			1	1
小便器用手すり	SUS製 樹脂被覆タイプ	T112CU22	KF-701AEJ	1			1
はね上げ式手すり	SUS製 樹脂被覆タイプ	T112HK7R	KF-471EH70JU			1	1
2槽洗面カッター	奥行450mm L=2280 ぶくろ一体タイプ 自動水栓	MC45・フレン TLE26SS1A T7W34 T6BR ×2 M9P40A ×3	MB-451D9WS (2280)/BW-01 AM-320CV1 LF-105SAL-H A-2202 ×2 MBF-50A (AY) ×3	1			1
2槽洗面カッター	奥行450mm L=1980 ぶくろ一体タイプ 自動水栓	MC45・フレン TLE26SS1A T7W34 T6BR ×2 M9P40A ×3	MB-451D9WS (1980)/BW-01 AM-320CV1 LF-105SAL-H A-2202 ×2 MBF-50A (AY) ×3		1		1
車椅子対応洗面器	床給排水 電気温水器 水石けん入れ 自動水栓	L270CM REAK03B1RS33B6K TL220D TL347C1R TS126AR TLDSD2201J	L-275M EHM5-CA3SD3-313C SF-10E KF-300N LF-3SV (255) K KF-24F LF-105SAL			1	1
掃除用流し	壁給水 床排水	SK22A TK22 T23AEQ20C TN114 T9R T3TSGEP	S-202A LF-7KEZ-19 SF-20SAF-P SF-10E SF-202		1		1
へびこぎ	樹脂製 平壁設置タイプ	YKA15S	AC-BK-F62			1	1
へびこぎ	樹脂製	YKA25S	AC-OK-21F			1	1
トイレ	床給排水 電気温水器 水石けん入れ 紙巻器 側板	UAS81LDB2NW UTR141 ×2	PTOM-B210W PTOM-ESCR ×2			1	1
化粧鏡	600 × 900	YM6090A	KF-6090			1	1
背もたれ	ハードタイプ	EW285CS	-			1	1
手洗器	床給排水 自動水栓	LSE90ABSZ T156PH	AWL-71U2AM (S) (100V)			1	1
便座除菌剤用ディスペンサー	鍵付きタイプ	V300 ※1	-	2	4	1	7

男子・女子便所用化粧鏡は建築工事

※1 ディスペンサーのみ「花王」の型式

※2 各種取付・固定金具を含む

冷暖房機器表

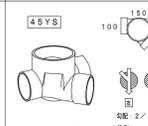
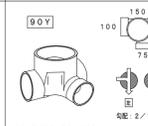
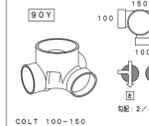
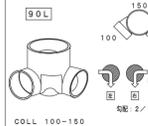
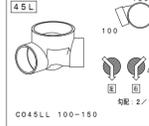
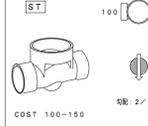
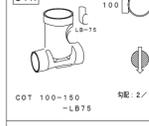
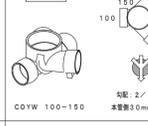
記号	名称	数量	参考型番	仕様	電源 (参考値)			設置場所	備考
					φ	V	W / KW		
PH-1	暖ヒーター	1	NZS-2000	インセラントル 壁掛タイプ 材質: スチール製 SUS製いたずら防止加工 最大放熱量: 1720kcal/h	1	200	2.0KW	女子便所	
PH-2	暖ヒーター	1	NZS-1750	インセラントル 壁掛タイプ 材質: スチール製 SUS製いたずら防止加工 最大放熱量: 1505kcal/h	1	200	1.75KW	男子便所	
PH-3	暖ヒーター	1	NYS-750	インセラントル 壁掛タイプ 材質: スチール製 SUS製いたずら防止加工 最大放熱量: 645kcal/h	1	200	0.75KW	多機能便所	

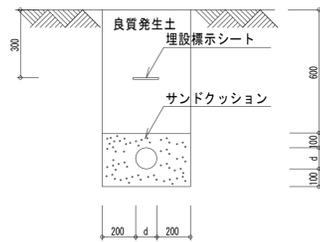
換気機器表

記号	名称	参考型番	数量	仕様	電源 (参考値)			設置場所	備考
					φ	V	W / KW		
EF-1	天井埋込形換気扇	VD-20ZB13	三菱	2	低騒音形 風量: 420m ³ /h 静圧: 120Pa 丸形フード (SUS製・ギヤ付・防虫網付) 天吊金具	1	100	74.0W	男子便所・女子便所
EF-2	天井埋込形換気扇	VD-18ZB13	三菱	1	低騒音形 風量: 160m ³ /h 静圧: 90Pa 丸形フード (SUS製・ギヤ付・防虫網付) 天吊金具	1	100	26.0W	多機能便所

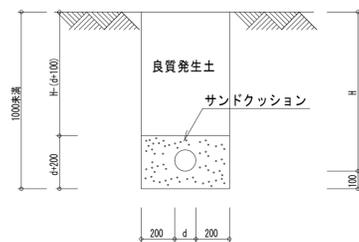
柵リスト (塩ビ汚水柵系統)

	記号				柵間距離	柵実深さ (H)	蓋仕様	備考
1	90L	100	—	150	0	300	樹脂製ふた	YV-04
2	90Y	100	—	150	2,600	330	樹脂製ふた	YV-03
3	90L	100	—	150	2,100	355	樹脂製ふた	YV-04
4	90Y	100	—	150	2,300	380	樹脂製ふた	YV-03
5	90Y	100	—	150	900	390	樹脂製ふた	YV-03
6	90Y	100	—	150	1,300	405	樹脂製ふた	YV-03
7	90Y	100	—	150	5,500	460	樹脂製ふた	YV-03
8	90Y	100	—	150	1,300	475	樹脂製ふた	YV-03
9	90L	100	—	150	4,900	525	鉄ふた (T-8) (口環有)	YV-04
					8,000		既存下水柵	

柵型番	YV-01	YV-02
柵姿図		
参考型番	M-45YS-H100-150	M-90Y100*75-150
YV-03		
参考型番	M-90Y100-150	M-90L100-150
YV-06		
参考型番	M-45L100-150	M-ST100-150
YV-09		
参考型番	M-STH100-150LB75	M-45WYS100-150
YV-11		
参考型番		M-UTK100*75S-150-B



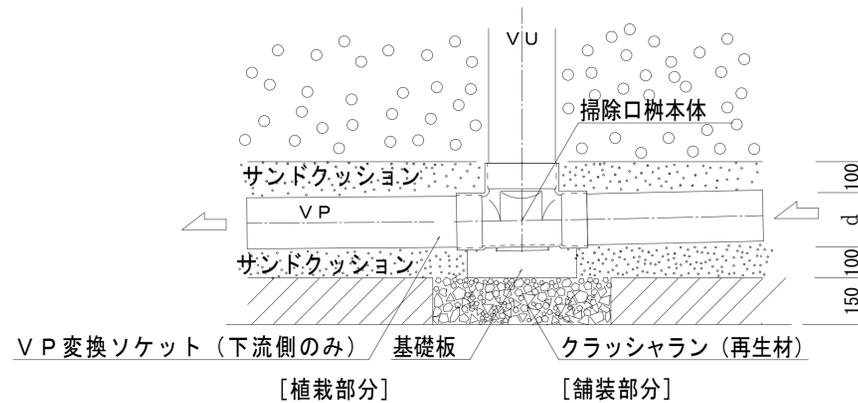
埋設幅は参考とする
屋外給水管理設断面図



埋設幅は参考とする
屋外排水管理設断面図

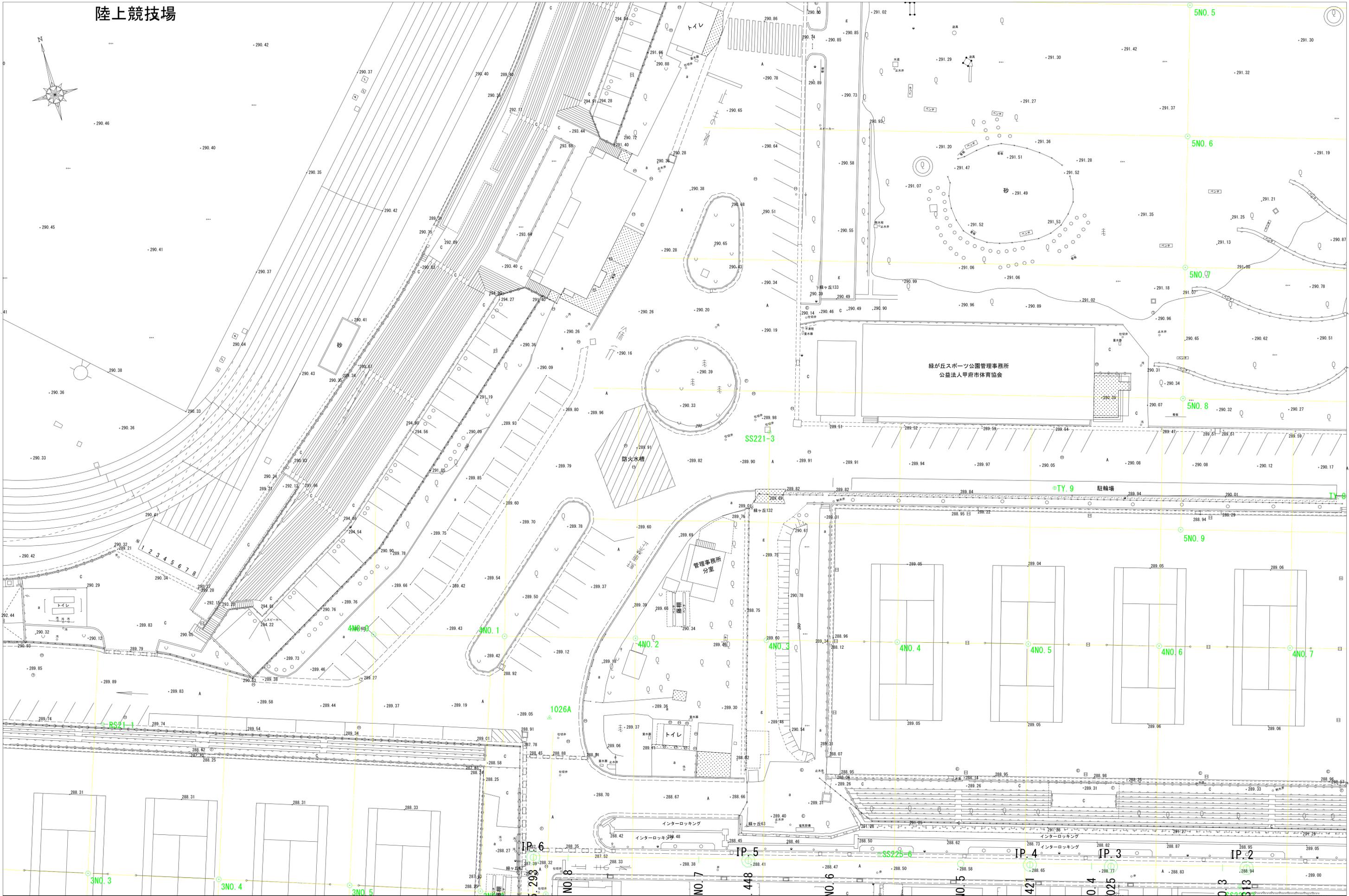
掃除口柵 (塩ビ柵) 施工

- クラッシュランは、再生材とする。
- 柵本体下部の基礎板は、コンクリート板、若しくは再生プラスチック製台座を使用する。



掃除口柵 (塩ビ柵) 施工要領図

陸上競技場

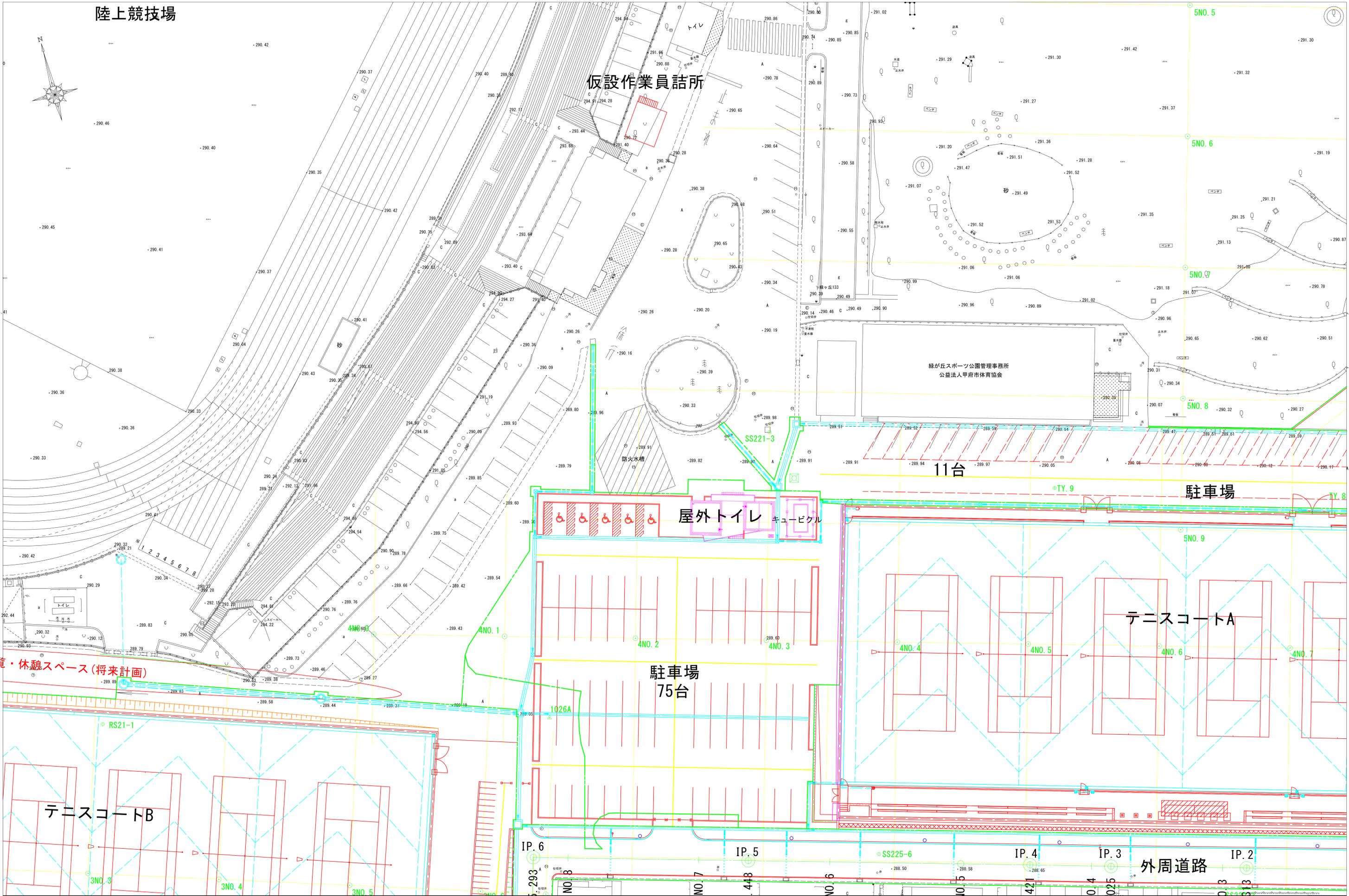


特記事項	変更事項

ディナック中日本・地建工業 設計業務共同企業体
 一級建築士 第 217345 号 中込 秀

設計年月: 令和 年 月	工事名称	図面名称	縮尺	図面番号
承認 中込 担当 向山 作図 向山	緑が丘スポーツ公園屋外トイレ建設(機械設備)工事	外構 現況平面図	A1: 1/250 A3: 1/500	GP-01

陸上競技場



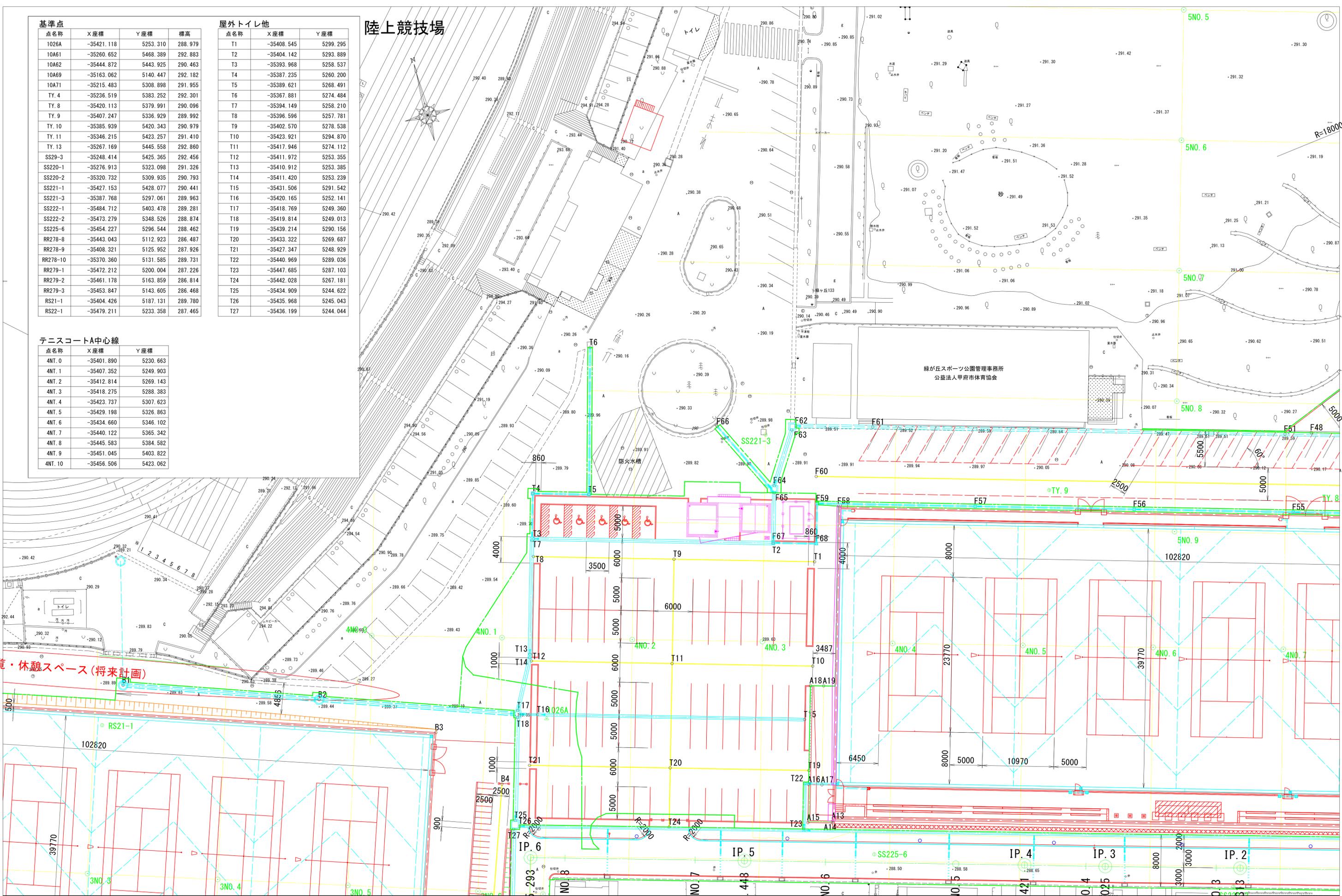
特記事項	変更事項	ディナック中日本・地建工業 設計業務共同企業体 一級建築士 第 217345 号 中込 秀	設計年月: 令和 年 月	工事名称	図面名称	縮尺	図面番号
			承認 中込 担当 向山 作図 向山	緑が丘スポーツ公園屋外トイレ建設(機械設備)工事	外構 計画平面図	A1: 1/250 A3: 1/500	GP-02

基準点	点名称	X座標	Y座標	標高
	1026A	-35421.118	5253.310	288.979
	10A61	-35260.652	5468.389	292.883
	10A62	-35444.872	5443.925	290.463
	10A69	-35163.062	5140.447	292.182
	10A71	-35215.483	5308.898	291.955
	TY.4	-35236.519	5383.252	292.301
	TY.8	-35420.113	5379.991	290.096
	TY.9	-35407.247	5336.929	289.992
	TY.10	-35385.939	5420.343	290.979
	TY.11	-35346.215	5423.257	291.410
	TY.13	-35267.169	5445.558	292.860
	SS29-3	-35248.414	5425.365	292.456
	SS220-1	-35276.913	5323.098	291.326
	SS220-2	-35320.732	5309.935	290.793
	SS221-1	-35427.153	5428.077	290.441
	SS221-3	-35387.768	5297.061	289.963
	SS222-1	-35484.712	5403.478	289.281
	SS222-2	-35473.279	5348.526	288.874
	SS225-6	-35454.227	5296.544	288.462
	RR278-8	-35443.043	5112.923	286.487
	RR278-9	-35408.321	5125.952	287.926
	RR278-10	-35370.360	5131.585	289.731
	RR279-1	-35472.212	5200.004	287.226
	RR279-2	-35461.178	5163.859	286.814
	RR279-3	-35453.847	5143.605	286.468
	RS21-1	-35404.426	5187.131	289.780
	RS22-1	-35479.211	5233.358	287.465

屋外トイレ他	点名称	X座標	Y座標
	T1	-35408.545	5299.295
	T2	-35404.142	5293.889
	T3	-35393.968	5258.537
	T4	-35387.235	5260.200
	T5	-35389.621	5268.491
	T6	-35367.881	5274.484
	T7	-35394.149	5258.210
	T8	-35396.596	5257.781
	T9	-35402.570	5278.538
	T10	-35423.921	5294.870
	T11	-35417.946	5274.112
	T12	-35411.972	5253.355
	T13	-35410.912	5253.385
	T14	-35411.420	5253.239
	T15	-35431.506	5291.542
	T16	-35420.165	5252.141
	T17	-35418.769	5249.360
	T18	-35419.814	5249.013
	T19	-35439.214	5290.156
	T20	-35433.322	5269.687
	T21	-35427.347	5248.929
	T22	-35440.969	5289.036
	T23	-35447.685	5287.103
	T24	-35442.028	5267.181
	T25	-35434.909	5244.622
	T26	-35435.968	5245.043
	T27	-35436.199	5244.044

テニスコートA中心線	点名称	X座標	Y座標
	4NT.0	-35401.890	5230.663
	4NT.1	-35407.352	5249.903
	4NT.2	-35412.814	5269.143
	4NT.3	-35418.275	5288.383
	4NT.4	-35423.737	5307.623
	4NT.5	-35429.198	5326.863
	4NT.6	-35434.660	5346.102
	4NT.7	-35440.122	5365.342
	4NT.8	-35445.583	5384.582
	4NT.9	-35451.045	5403.822
	4NT.10	-35456.506	5423.062

陸上競技場



観・休憩スペース(将来計画)

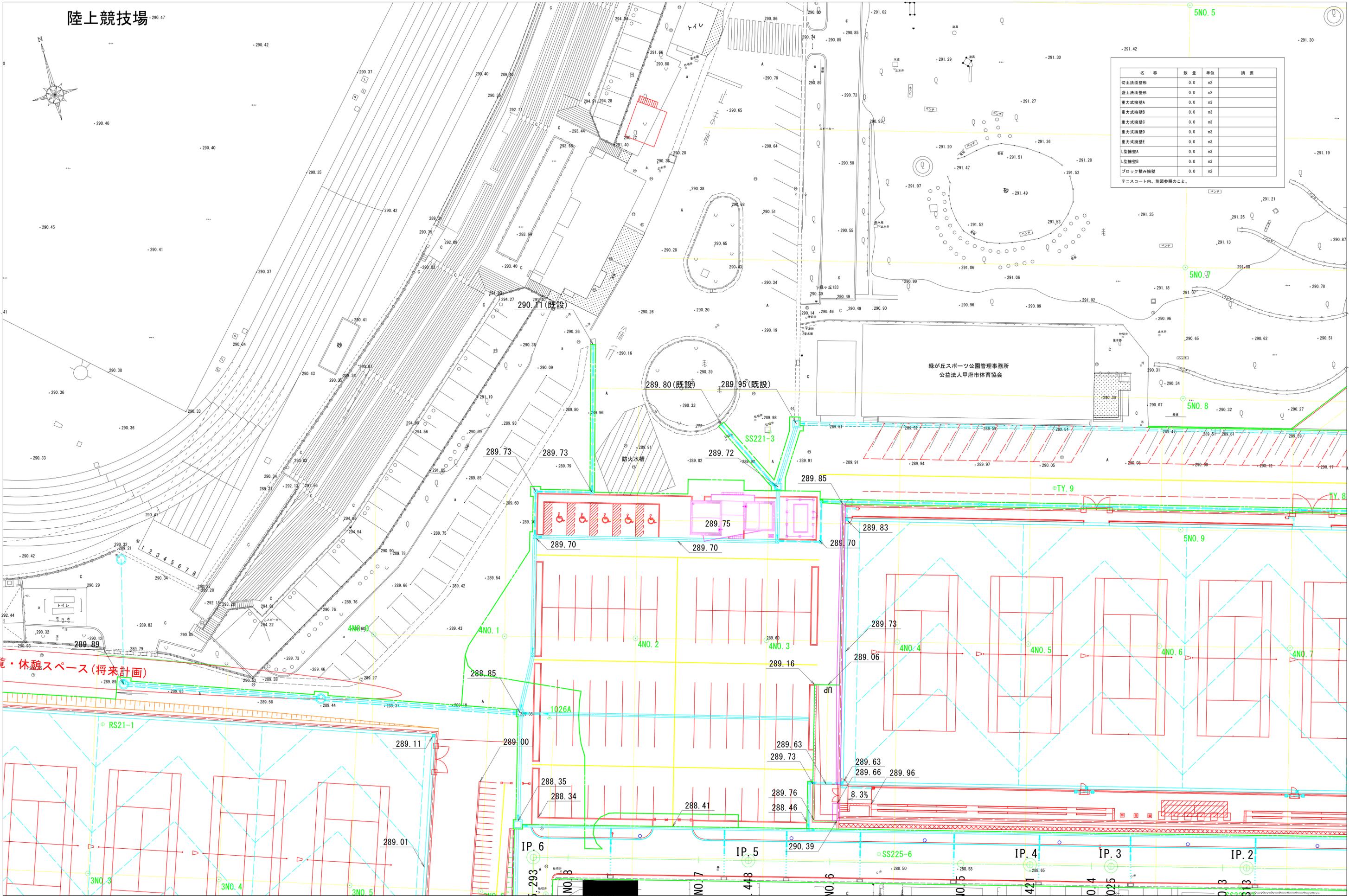
特記事項	変更事項	ディナック中日本・地建工業 設計業務共同企業体 一級建築士 第 217345 号 中込 秀	設計年月: 令和 年 月	工事名称 緑が丘スポーツ公園屋外トイレ建設(機械設備)工事	図面名称 外構 割付平面図	縮尺 A1: 1/250 A3: 1/500	図面番号 GP-03
------	------	--	--------------	----------------------------------	------------------	------------------------------	---------------

陸上競技場 290.47

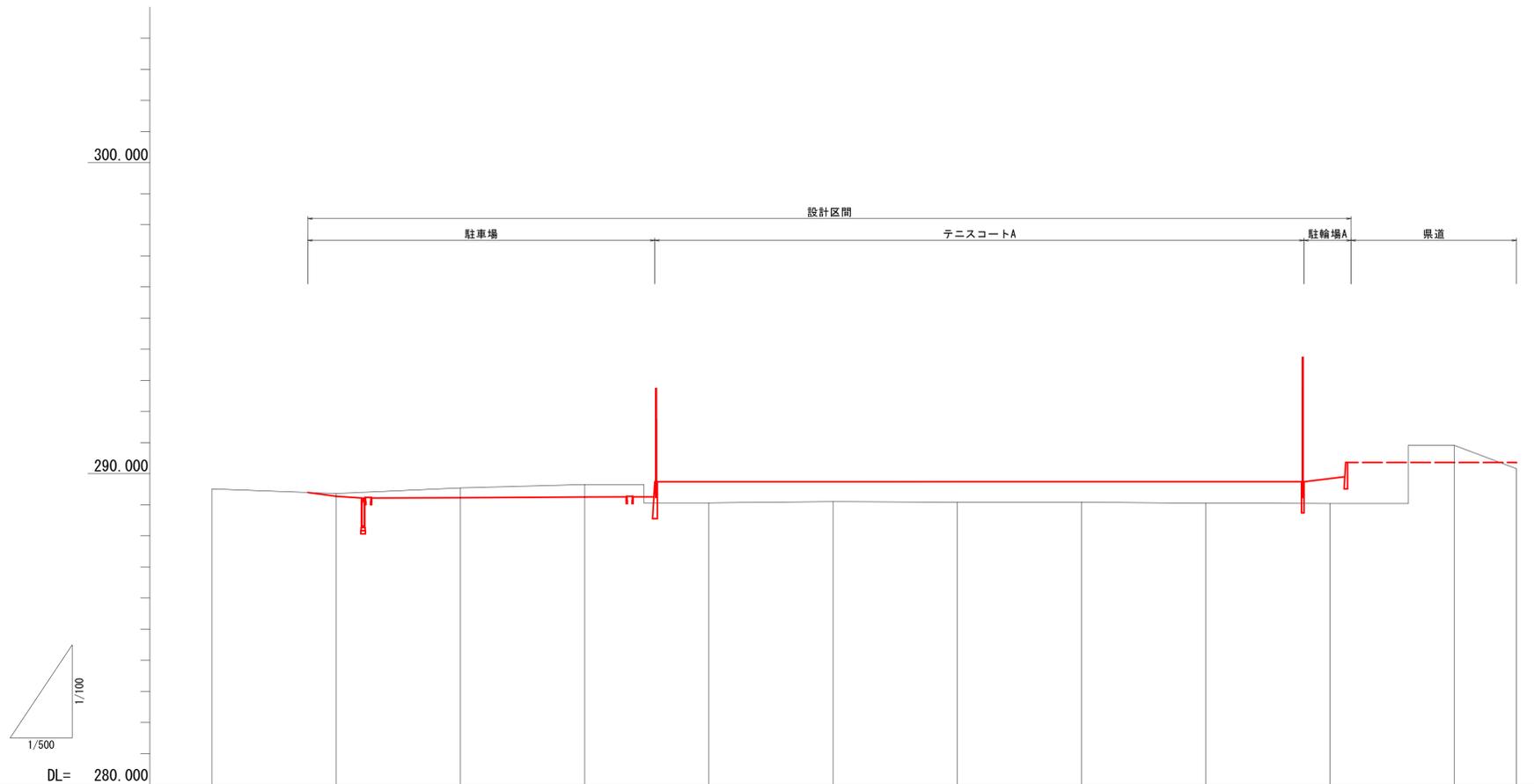


名称	数量	単位	摘要
切土法面整形	0.0	m2	
埋土法面整形	0.0	m2	
重力式擁壁A	0.0	m3	
重力式擁壁B	0.0	m3	
重力式擁壁C	0.0	m3	
重力式擁壁D	0.0	m3	
重力式擁壁E	0.0	m3	
L型擁壁A	0.0	m3	
L型擁壁B	0.0	m3	
ブロック積み擁壁	0.0	m2	

テニスコート内、別図参照のこと。



特記事項	変更事項	ディナック中日本・地建工業 設計業務共同企業体 一級建築士 第 217345 号 中込 秀	設計年月: 令和 年 月	工事名称: 緑が丘スポーツ公園屋外トイレ建設(機械設備)工事	図面名称: 外構 造成計画平面図	縮尺: A1: 1/250 A3: 1/500	図面番号: GP-04
			承認: 中込 担当 向山 作図 向山				



勾配図												
盛土					0.68	0.64	0.66	0.66	0.69	0.85		
切土		0.09	0.31	0.40								
計画高		289.273	289.225	289.249	289.738	289.738	289.739	289.739	289.739	289.892		
地盤高	289.51	289.36	289.54	289.65	289.06	289.10	289.08	289.08	289.05	289.04	290.91	290.16
追加距離	0.000	20.000	40.000	60.000	80.000	100.000	120.000	140.000	160.000	180.000	200.000	210.000
区間距離	0.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	20.000	10.000
測点	4No.0	4No.1	4No.2	4No.3	4No.4	4No.5	4No.6	4No.7	4No.8	4No.9	4No.10	4No.10 +10.00

特記事項

変更事項

ディナック中日本・地建工業 設計業務共同企業体
一級建築士 第 217345 号 中込 秀

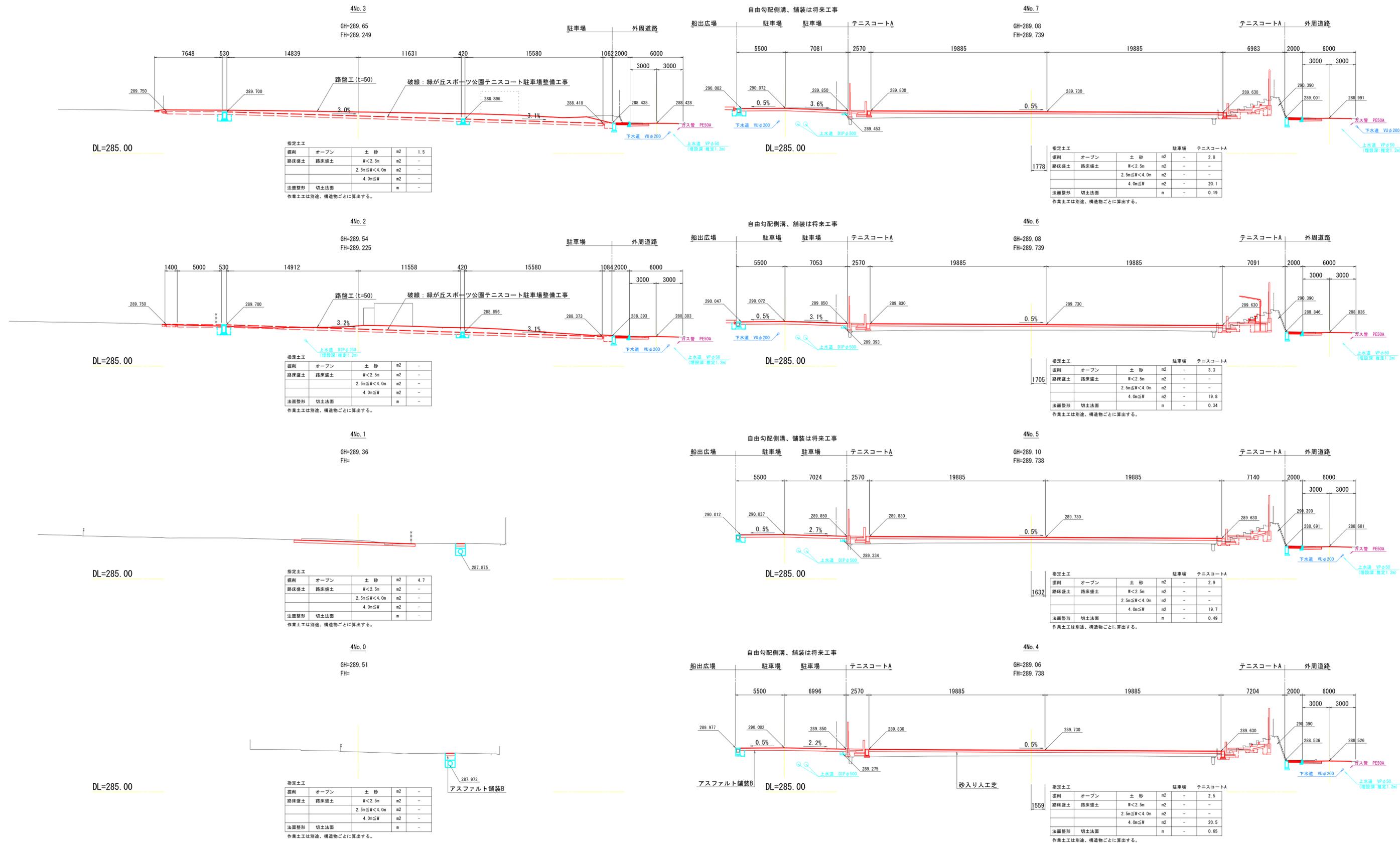
設計年月：令和 年 月
 承認 中込 担当 向山 作 向山

工事名称
 緑が丘スポーツ公園屋外トイレ建設(機械設備)工事

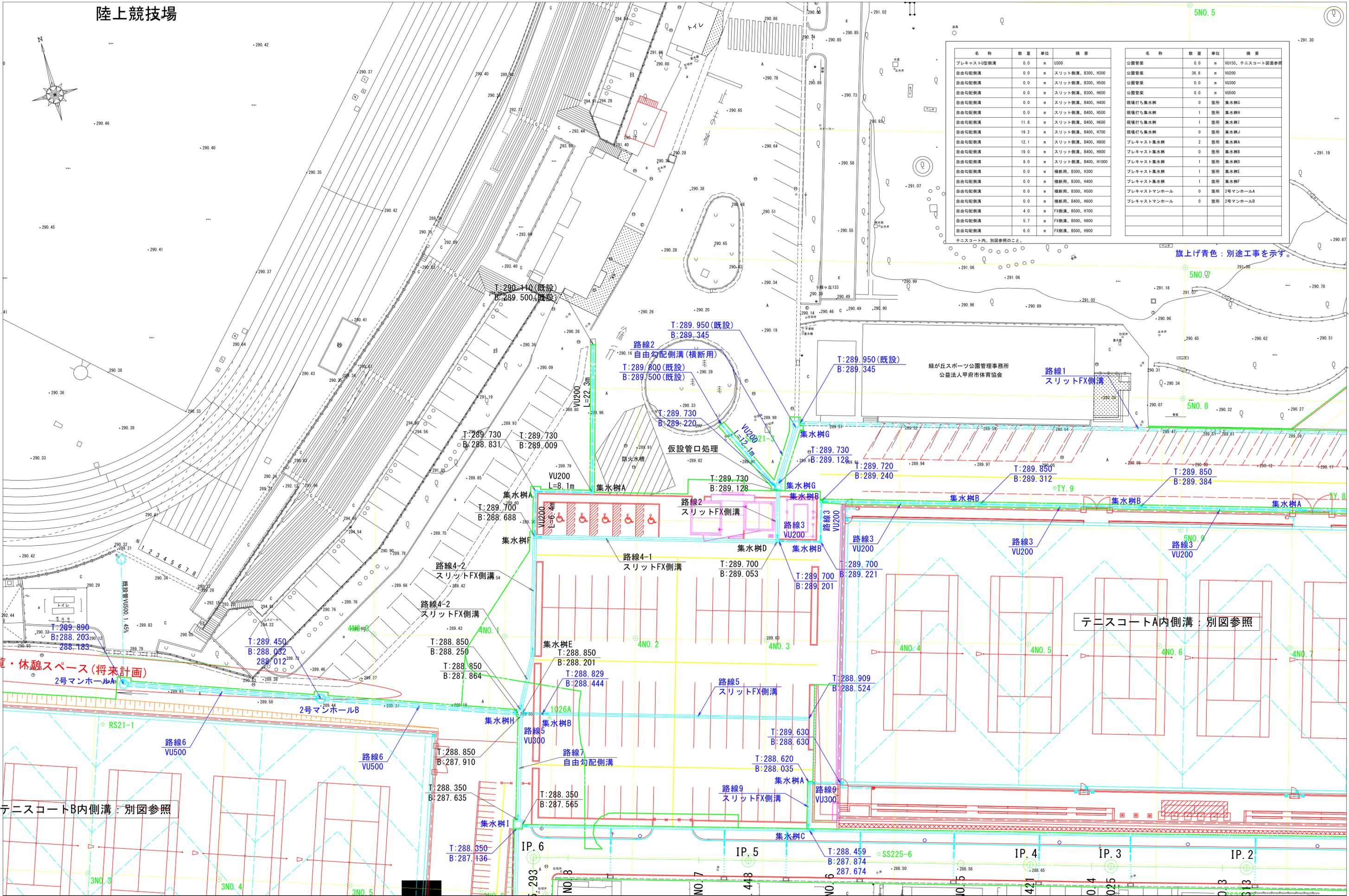
図面名称
 外構 計画縦断面図

縮尺
 A1：図示
 A3：図示

図面番号
 GP-05



陸上競技場



名称	数量	単位	摘要
プレキャストU型側溝	0.0	n	U300
自由勾配側溝	0.0	n	スリット側溝、B300、H300
自由勾配側溝	0.0	n	スリット側溝、B300、H500
自由勾配側溝	0.0	n	スリット側溝、B300、H600
自由勾配側溝	0.0	n	スリット側溝、B400、H400
自由勾配側溝	0.0	n	スリット側溝、B400、H500
自由勾配側溝	11.8	n	スリット側溝、B400、H600
自由勾配側溝	19.2	n	スリット側溝、B400、H700
自由勾配側溝	12.1	n	スリット側溝、B400、H800
自由勾配側溝	19.0	n	スリット側溝、B400、H900
自由勾配側溝	8.0	n	スリット側溝、B400、H1000
自由勾配側溝	0.0	n	横断用、B300、H300
自由勾配側溝	0.0	n	横断用、B300、H400
自由勾配側溝	0.0	n	横断用、B300、H500
自由勾配側溝	0.0	n	横断用、B400、H600
自由勾配側溝	4.0	n	FX側溝、B500、H700
自由勾配側溝	5.7	n	FX側溝、B500、H800
自由勾配側溝	6.0	n	FX側溝、B500、H900

名称	数量	単位	摘要
公園管渠	0.0	n	VU150、テニスコート図面参照
公園管渠	36.8	n	VU200
公園管渠	0.0	n	VU300
公園管渠	0.0	n	VU500
現場打ち集水樹	0	箇所	集水樹G
現場打ち集水樹	1	箇所	集水樹H
現場打ち集水樹	1	箇所	集水樹I
現場打ち集水樹	0	箇所	集水樹J
プレキャスト集水樹	2	箇所	集水樹A
プレキャスト集水樹	1	箇所	集水樹B
プレキャスト集水樹	1	箇所	集水樹D
プレキャスト集水樹	1	箇所	集水樹E
プレキャスト集水樹	1	箇所	集水樹F
プレキャストマンホール	0	箇所	2号マンホールA
プレキャストマンホール	0	箇所	2号マンホールB

旗上げ青色：別途工事を示す。

緑が丘スポーツ公園管理事務所
公益法人甲府市体育協会

テニスコートA内側溝：別図参照

テニスコートB内側溝：別図参照

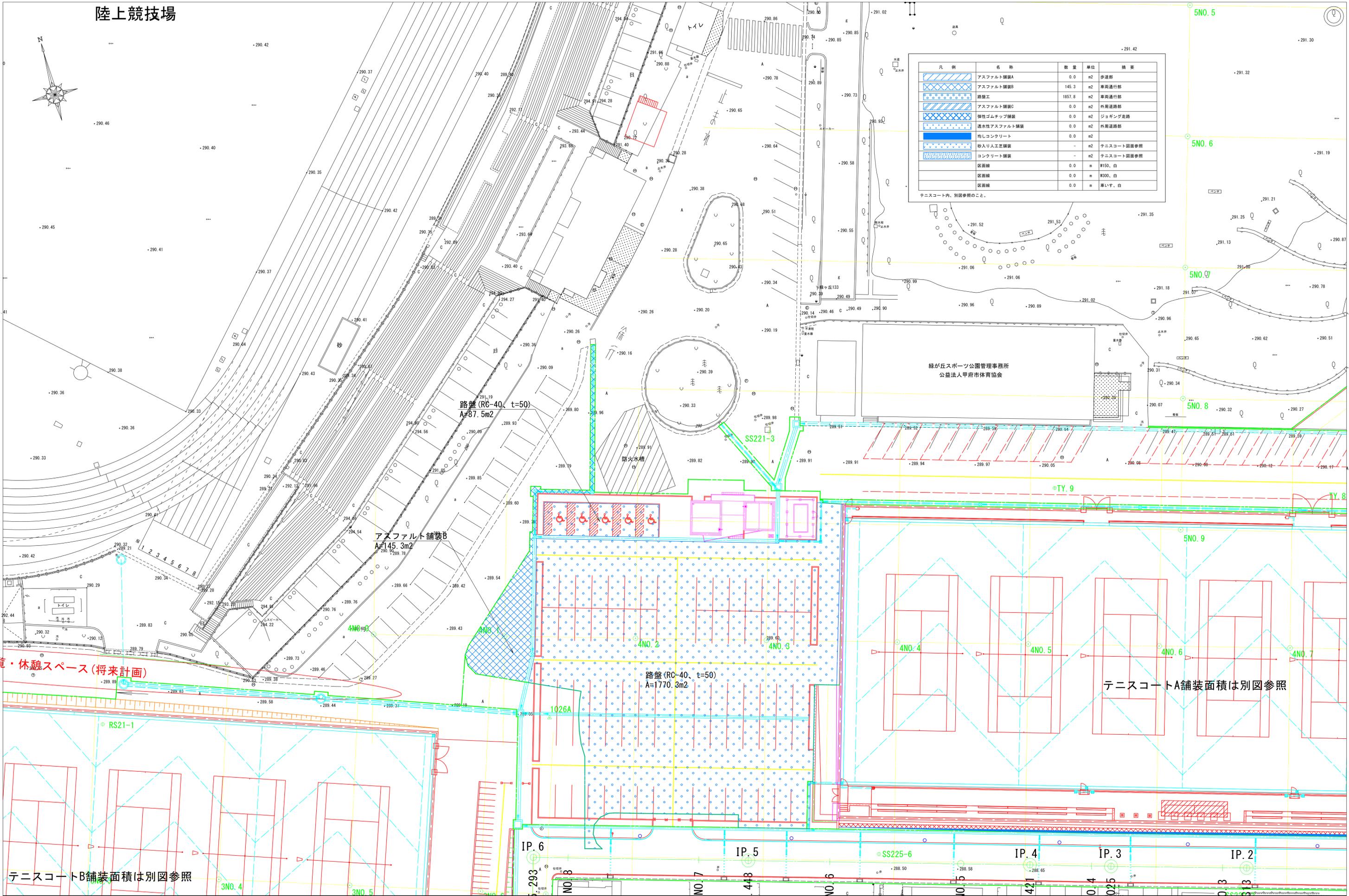
観・休憩スペース(将来計画)
2号マンホールA

陸上競技場



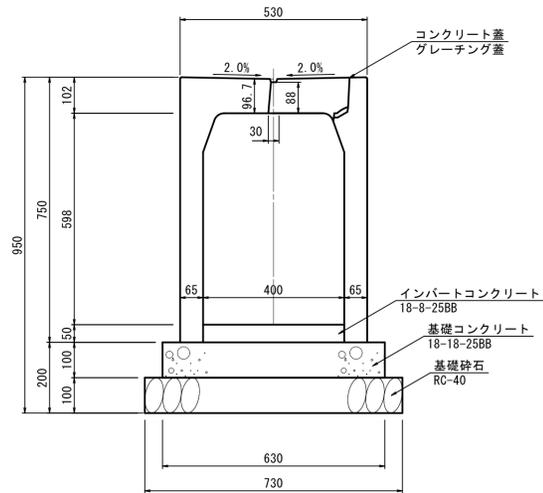
凡例	名称	数量	単位	備考
[Blue diagonal lines]	アスファルト舗装A	0.0	m ²	歩道部
[Blue cross-hatch]	アスファルト舗装B	145.3	m ²	車両通行部
[Blue dotted]	路盤工	1857.8	m ²	車両通行部
[Blue diagonal lines]	アスファルト舗装C	0.0	m ²	外周道路部
[Blue wavy]	弾性ゴムチップ舗装	0.0	m ²	ジョギング走路
[Blue dotted]	透水性アスファルト舗装	0.0	m ²	外周道路部
[Blue horizontal lines]	均しコンクリート	0.0	m ²	
[Blue wavy]	砂入り人工芝舗装	-	m ²	テニスコート図面参照
[Blue wavy]	コンクリート舗装	-	m ²	テニスコート図面参照
[Blue wavy]	区画線	0.0	m	幅150、白
[Blue wavy]	区画線	0.0	m	幅300、白
[Blue wavy]	区画線	0.0	m	幅いす、白

テニスコート内、別図参照のこと。

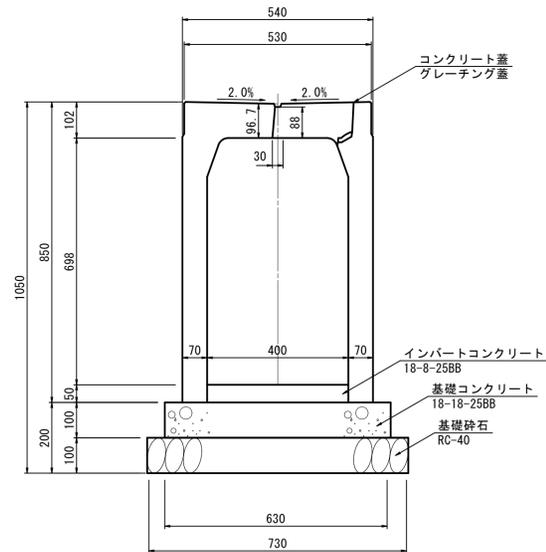


特記事項	変更事項	ディナック中日本・地建工業 設計業務共同企業体 一級建築士 第 217345 号 中込 秀	設計年月: 令和 年 月	工事名称 緑が丘スポーツ公園屋外トイレ建設(機械設備)工事	図面名称 外構 舗装計画平面図	縮尺 A1: 1/250 A3: 1/500	図面番号 GP-08
承認			中込	担当	向山	作図	向山

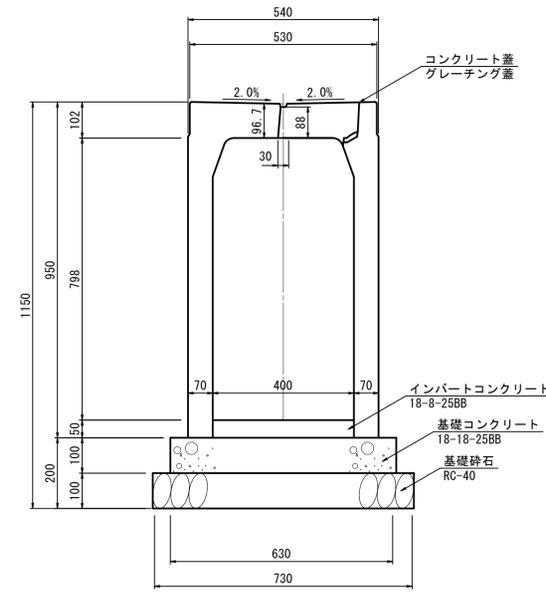
スリット側溝
B400×H600 S=1:10



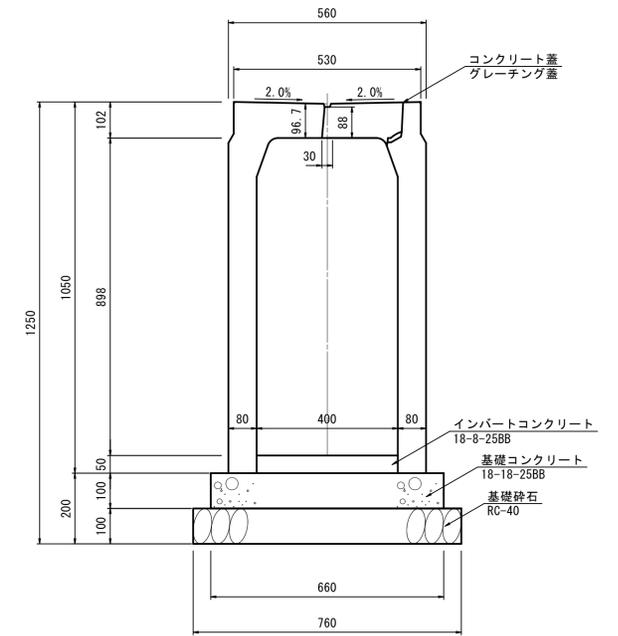
スリット側溝
B400×H700 S=1:10



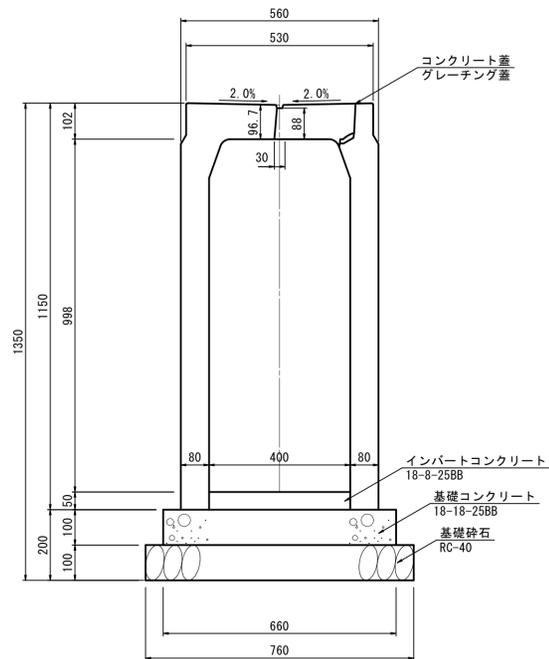
スリット側溝
B400×H800 S=1:10



スリット側溝
B400×H900 S=1:10



スリット側溝
B400×H1000 S=1:10



特記事項	変更事項

ディナック中日本・地建工業 設計業務共同企業体
一級建築士 第 217345 号 中込 秀

設計年月: 令和 年 月
承認 中込 担当 向山 作図 向山

工事名称
緑が丘スポーツ公園屋外トイレ建設(機械設備)工事

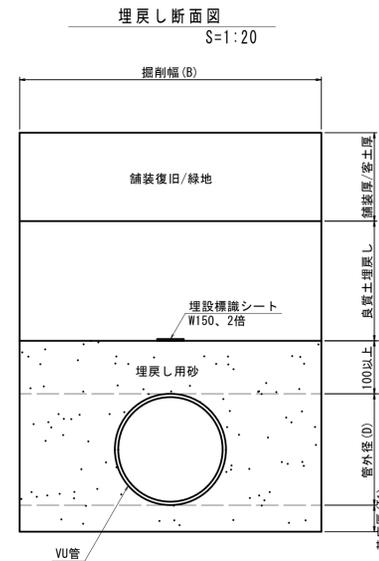
図面名称
外構 公園雨水排水施設構造図(1)

縮尺
A1: 図示
A3: 図示

図面番号
GP-09

雨水排水管標準図

S=1:20

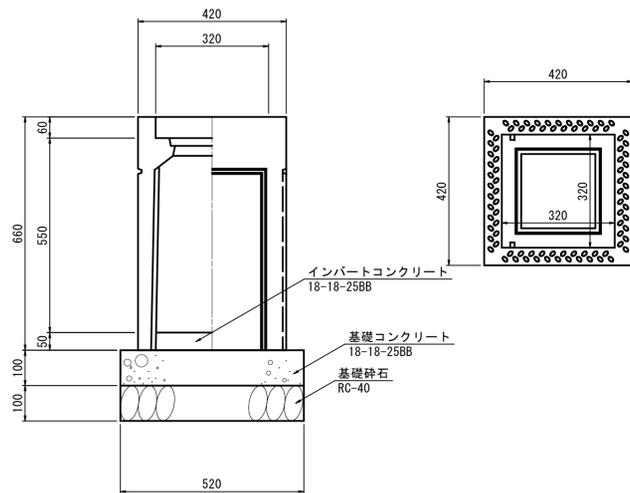


車道荷重の載荷がない箇所はこの限りでない。

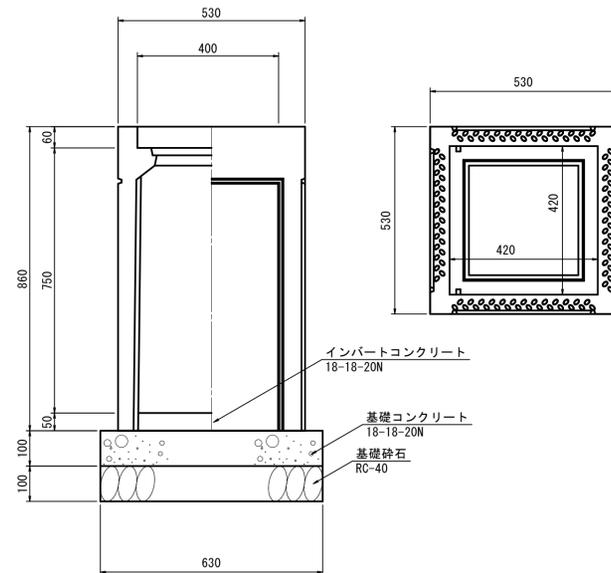
管種	VP	VU	VU	VU
口径	φ 150	φ 200	φ 300	φ 500
D	165	216	318	520
B	600	700	850	1100
T1	100	100	150	200

- ・施工現場の状況によってこの表によりがたい場合は、別途変更すること。
- ・掘削の状況により土留工が必要な場合は、建込み簡易土留等を使用して施工すること。

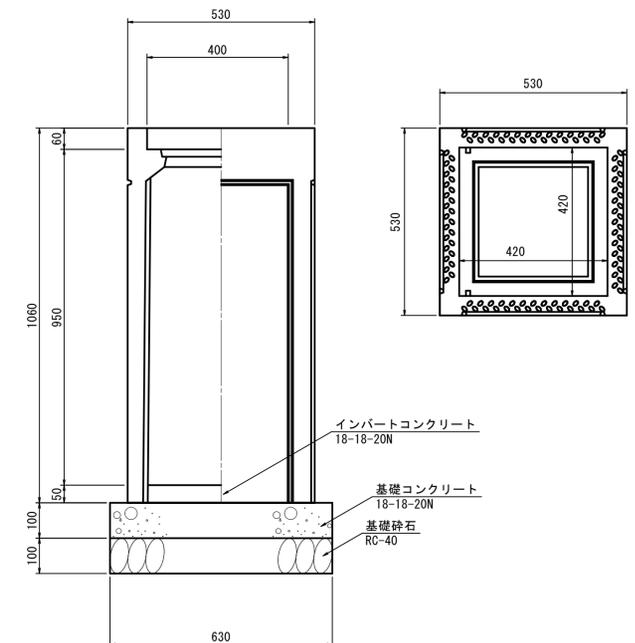
集水樹A
FX樹B300×L300×H600 S=1:10



集水樹D
FX樹B400×L400×H800 S=1:10



集水樹E
FX樹B400×L400×H1000 S=1:10



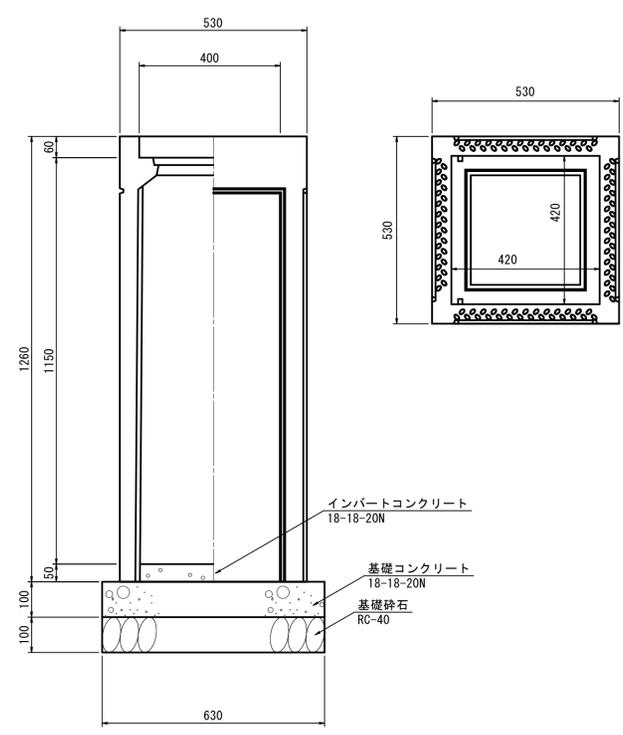
特記事項	変更事項

ディナック中日本・地建工業 設計業務共同企業体
一級建築士 第 217345 号 中込 秀

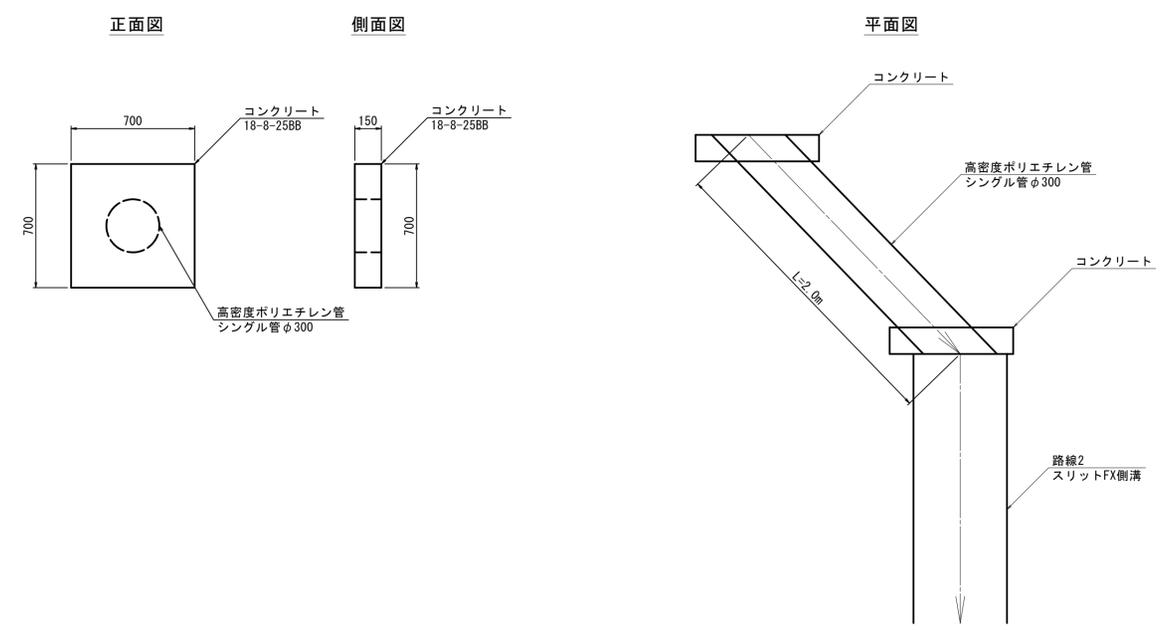
設計年月: 令和 年 月	工事名称
承認 中込 担当 向山 作図 向山	緑が丘スポーツ公園屋外トイレ建設(機械設備)工事

図面名称	縮尺	図面番号
外構 公園雨水排水施設構造図(2)	A1: 図示 A3: 図示	GP-10

集水柵F
FX柵B400×L400×H1200 S=1:10



仮設管口処理
S=1:20



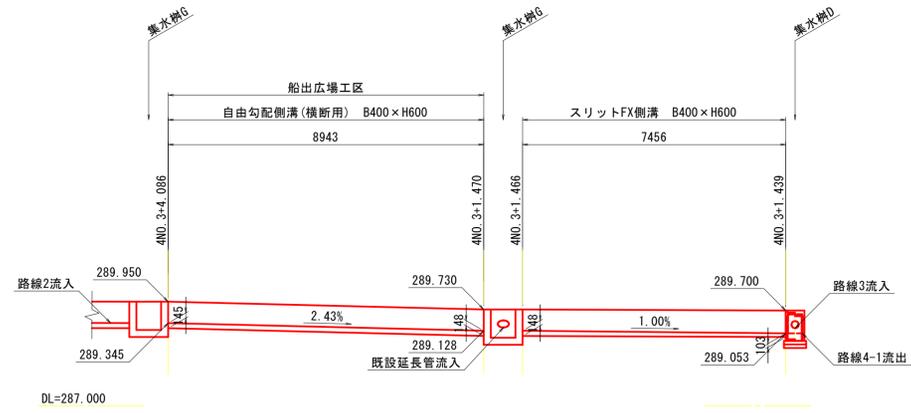
特 記 事 項	変 更 事 項	

ディナック中日本・地建工業 設計業務共同企業体
一級建築士 第 217345 号 中込 秀

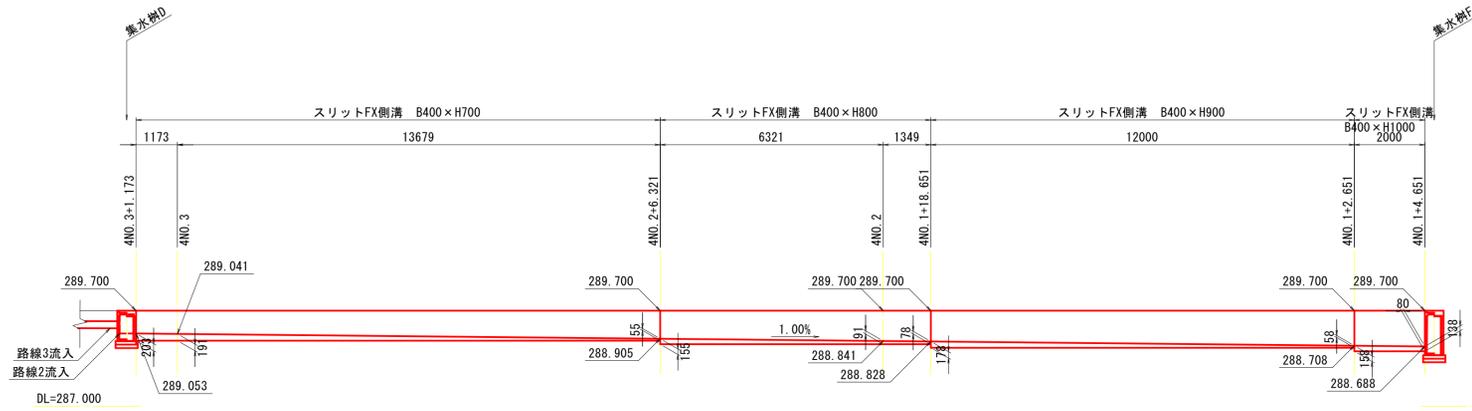
設計年月: 令和 年 月	工事名称
承認 中込 担当 向山 作図 向山	緑が丘スポーツ公園屋外トイレ建設(機械設備)工事

図面名称	縮尺	図面番号
外構 公園雨水排水施設構造図(3)	A1: 図示 A3: 図示	GP-11

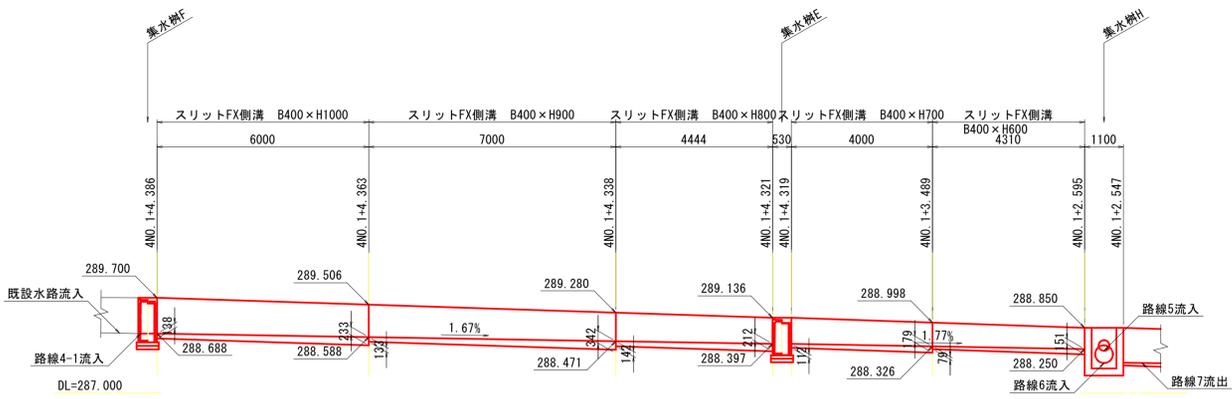
側溝展開図 路線2
S=1:100



側溝展開図 路線4-1
S=1:100



側溝展開図 路線4-2
S=1:100



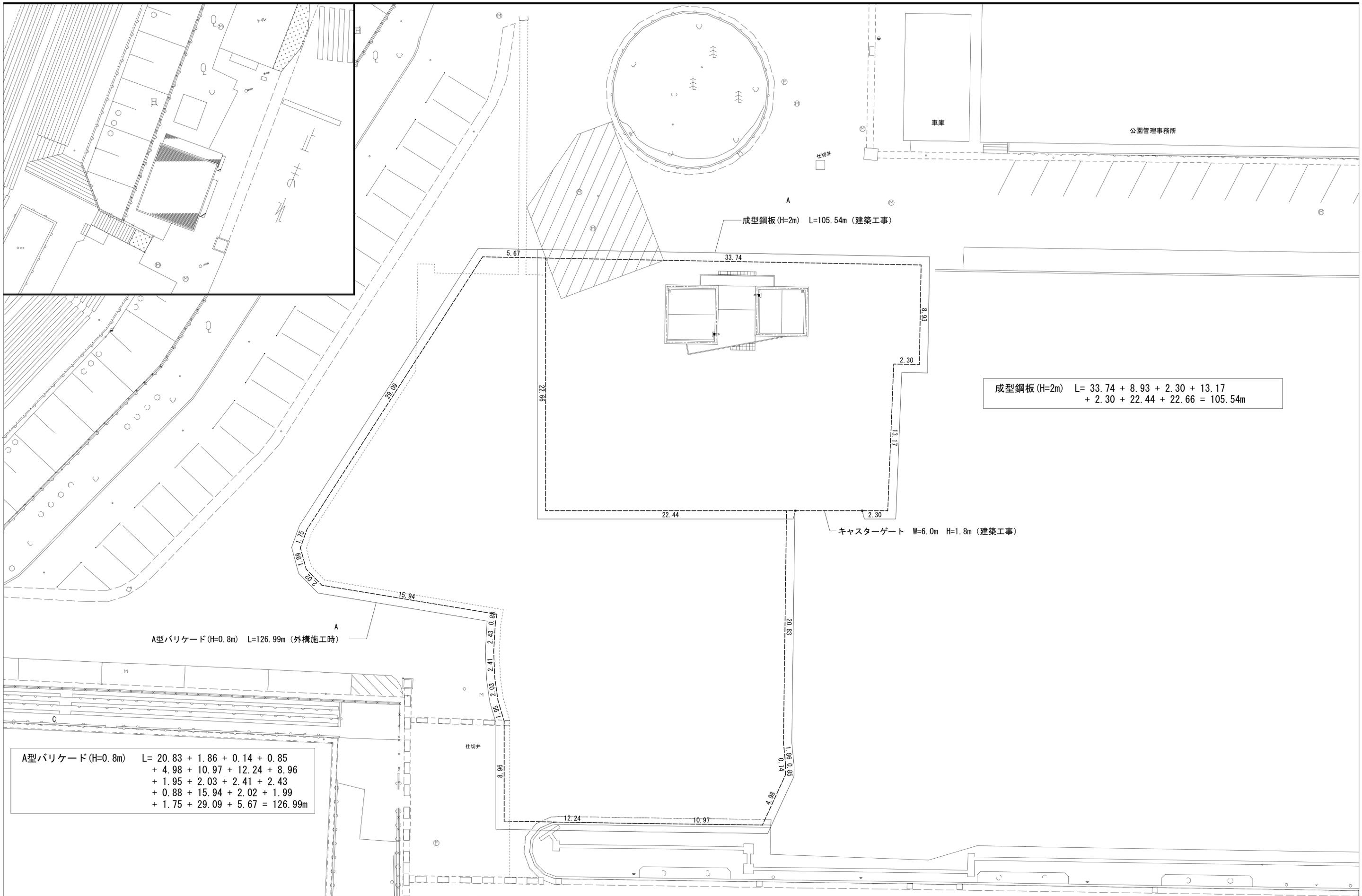
特記事項	変更事項

ディナック中日本・地建工業 設計業務共同企業体
一級建築士 第 217345 号 中込 秀

設計年月: 令和 年 月	工事名称
	緑が丘スポーツ公園屋外トイレ建設(機械設備)工事
承認 中込 担当 向山 作図 向山	

図面名称
外構 側溝展開図

縮尺	図面番号
A1: 1/100 A3: 1/200	GP-12



特 記 事 項	変 更 事 項	ディナック中日本・地建工業 設計業務共同企業体 一級建築士 第 217345 号 中込 秀	設計年月: 令和 年 月	工事名称	図面名称	縮尺	図面番号
			承認 中込 担当 向山 作 向山	緑が丘スポーツ公園屋外トイレ建設(機械設備)工事	仮設計画図	A1 : 1/150 (A3 : 1/300)	KP-01